

平成26年度 松本市 小中学校



環境教育支援事業 報告書



美しく生きる。



健康寿命延伸都市・松本

松本市小中学校環境教育支援事業について

1 この事業について

学校内における環境教育の推進を図るために、専門性を有する企業・団体・個人が講師として実施できる環境教育プログラムを紹介し、環境学習の授業に活用していただくことで、学校内における環境教育の一層の推進を図るものです。

行政部門（松本市環境政策課：事業の全体調整）、教育部門（松本市教育委員会：市内小中学校との連絡・調整）、民間部門（中信地区環境教育ネットワーク：環境教育プログラムの作成・提案、講師団体との調整）の3者による協働事業として、平成22年度から実施しています。

2 経過

- (1) 平成26年4月14日 松本市小中学校校長会へ案件提出
- (2) 平成26年4月21日 松本市小中学校教頭会へ内容説明
各校に事業メニューの提示と希望調査
- (3) 平成26年5月12日までに16校から実施希望、問合せあり
- (4) 平成26年5月以降、順次事業実施
- (5) 平成26年7月 事業に係る費用を中信地区環境教育ネットワークが負担する「おためしプログラム」について、校長会、教頭会へ周知、事業を実施。4校7プログラムの申込みあり。

3 実施状況（平成27年2月1日現在）

- (1) 実施校 17校（小学校13校 中学校4校）
- (2) 実施人数 1,743名（小学生1,489名 中学生254名）
- (3) 実施事業 29事業（16メニュー）
- (4) 実施団体 15団体（11団体 4企業）

4 報告書構成

- (1) 松本市小中学校環境教育支援事業 報告書 1～58頁
- (2) 松本市小中学校環境教育支援事業 学習プログラム 59～79頁

平成26年度 松本市小中学校環境教育支援事業 報告書一覧

番号	学校名	メニュー番号・内容	協力団体	実施児童、生徒	人数	実施日	頁番号
1	会田中	1 自然を皆と一緒に考えるプログラム	NPO法人信州松本山岳ガイド協会 やまたみ	2学年	48	6月27日	1～2
2	今井小	2 体感プログラムを中心とした自然体験学習【おためしプログラム】	持続可能な松本平創造カンパニーわおん♪	1、2学年	51	9月24日	3～4
3	菅野小	昆虫採集と昆虫の体のつくりについて【おためしプログラム】	いきものみつけファームin松本推進協議会	3学年	31	9月4日	5～6
4	田川小	8 水の生物の観察会【おためしプログラム】	川の自然と文化研究所(NPO)	2学年	36	9月5日	7～8
5	田川小	田川の歴史【おためしプログラム】	松本文書館	3学年	47	12月9日	9～10
6	会田中	9 やさしい放射線の実験教室	株式会社 環境技術センター NPO地域づくり工房	3学年	32	7月15日	11～12
7	会田中	9 水ってなあに？	株式会社 環境技術センター	2学年	48	10月15日	13～14
8	芝沢小	10 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり【おためしプログラム】	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク (エコネットまつもと)	4学年	25	11月21日	15～16
9	二子小	11 マイ箸づくり	寿飽の会	4学年	43	12月5日	17～18
10	中山小	14 生ごみ処理機を使用した堆肥作り	株式会社 キウイチ	4学年	21	6月5日	19～20
11	会田中	16 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	3学年	32	11月20日	21～22
12	会田中	16 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	2学年	48	11月6日	23～24
13	鳥立小	木の授業と鉛筆立て制作	寿さと山くらぶ	5学年	42	10月23日	25～26
14	高綱中	16 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	特別支援学級	6	8月4日	27～28
15	菅野小	17 木材の活用法【おためしプログラム】	松本市林業士会	3学年	119	10月29日 11月11日	29～30
16	四賀小	18 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園	3～6学年	110	5月19日	31～32
17	今井小	18 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園	1、2学年	51	5月26日	33～34
18	開智小	18 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園	6学年	57	5月20日	35～36
19	鎌田小	18 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園	1学年 4学年 特別支援学級	197	5月16日 5月22日	37～38
20	菅野小	18 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園	1、2学年	209	5月13日	39～40
21	菅野中	18 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園	特別支援学級	3	6月4日	41～42
22	田川小	18 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園	1学年	47	5月21日	43～44
23	中山小	18 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園	2学年	17	5月27日	45～46
24	波田小	18 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園	1学年 特別支援学級	156	5月15日	47～48
25	波田中	18 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園	生徒会 緑化委員会	37	5月上旬	49～50
26	源池小	18 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園	4学年	54	6月3日	51～52
27	芳川小	18 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園	4学年	120	5月28日	53～54
28	二子小	19 端材の工作(木目を生かしたペンダント作り)	株式会社住まい工房 WOOD事業部	特別支援学級	5	10月30日	55～56
29	今井小	20 自然観察からはじまる自然保護の実践【おためしプログラム】	自然観察の会 ひこばえ	1、2学年	51	11月13日	57～58
計	17校	16種類	11団体 4企業	1,743人 (小学校1,489人、中学校254人)			





※内「おためしプログラム」については、4校の申込みがあり、7種類のプログラムが実施されました。

授 業 名	自然を皆と一緒に考えるプログラム
実施学校名	会田中学校
実施学年、学級 参加人数	2 学年（48名）
担当者	吉田 正人 教諭 2 学年担当職員
実施日（期間）	平成26年6月27日（金）
講師名	NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会 やまたみ
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗鞍岳、上高地の自然について ・ 鹿の生態系ゲーム
実施状況 (授業風景)	<div data-bbox="507 1079 1066 1498" data-label="Image"> </div> <p>← やまたみの石塚さんから乗鞍・上高地の自然についての話を聞いた。</p> <p>↓ 「鹿の生態系ゲーム」の様子 鹿と食料、すみか、水に分かれて、鹿が欲しいものを手に入ると数が増え、手に入らないと減少する。</p> <div data-bbox="603 1706 1449 2029" data-label="Image"> </div>

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>← ゲームの結果から鹿の個体数の増減と自然の関係について学習した。</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;">  <p>→ 自然環境と人間の生活や活動がお互いに大きな影響を与えていることを学んだ。</p> </div> </div>	
<p>授業について</p>	<p>記入者</p>	<p>吉田 正人</p> <p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上高地の自然環境は人の手によって整備されているんだ。 ・ 登山で行く乗鞍岳の様子が知れて良かった。珍しい動物や植物を見ることができたらいいな。 ・ ゲームは最初、やり方がわからなくて困ったが、だんだん慣れてきて楽しかったです。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普段生活している四賀の地域と7月に行く乗鞍岳や上高地の自然の違いを話していただいたので、登山本番では実際に体験する楽しみが持てたと思います。 ・ ただ話を聞くだけでなく、体を動かしながら自然の仕組みを理解する活動も取り入れていただき、生徒の気持ちも途切れずに良かったです。

<p>授 業 名</p>	<p>体感プログラムを中心とした自然体験学習【おためしプログラム】</p>
<p>実施学校名</p>	<p>今井小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>1、2学年 参加人数51名</p>
<p>担当者</p>	<p>中山 豊 野村 文恵</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成26年9月24日（水）</p>
<p>講師名</p>	<p>持続可能な松本平創造カンパニーわおん♪</p>
<p>実施概要</p>	<p>校学習公園で、自然観察を行った。 ①同じもの探し：落ちていくつもの自然物をグループごとに探す。 ②森の色合わせ：色カードにかかれた色を自然の中から探す。 ③フィールドビンゴ：ビンゴカードに書かれたお題を、様々な感覚を使って見つける。 ④森の万華鏡：自然物を拾って集め、万華鏡の中に入れて見る。 ⑤宝探し：自分の欲しいものを見つける。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>見本をよく見て、見つけよう！</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>触った感じはどうだろう？</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>これ見つかった？ないな～・・・</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>宝物になりそうなものは？</p> </div> </div>

授業について	記 入 者	野村 文恵
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然のものの中にも「ザラザラ」や「つるつる」など、いろいろな感じのものがあつた。 ・ぼくは、やっぱり虫が好きだ！ ・万華鏡の中に赤いものを入れたら、とてもきれいに見えた。 ・とにかく楽しかった！ぼくたちは1年生なので、来年もできるんでしょ？今から楽しみだ！ ・栗がたくさん落ちていた。きれいな栗を拾って食べたいな！ ・ぼくたちの班は、ビンゴで1番だった。みんなで手分けしたら、すぐに見つかった！ ・ジョロウグモやオニグモがいた。クモも万華鏡の中に入れるときれいに見えた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>学習公園が思ったように活用されていない現状があつたので、何か良い活用方法がないか考えていたところ、「わおん♪」さんの自然体験を紹介していただいた。</p> <p>草だらけの学習公園は、毎年、草を刈るのも一苦勞で、悩みの種だったが、今年度のような活動は、むしろ草が生えているような場所の方が、いろいろと楽しむことができた。子どもたちも、とても楽しそうに活動していて、自然の中での生き生きとした様子が見られた。</p> <p>来年度も実施する方向で考えている。子どもたちも楽しみにしているので、期待に応えたい。</p>	

授 業 名	昆虫採集と昆虫の体のつくりについて 【おためしプログラム】
実施学校名	菅野小学校
実施学年、学級 参加人数	3年1組 31名
担当者	可知倫子
実施日（期間）	平成26年9月4日（木）
講師名	いきものみつけファーム i n 松本推進協議会
実施概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 昆虫の捕まえ方の説明をお聞きした。 2 スカイパークに向かい昆虫採集を行った。 3 教室に戻り、捕まえた昆虫をスケッチし、体のつくりを学んだ。
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>そこに、大きなショウリョウバッタがいるよ。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div>

授業について	記 入 者	3年1組 担任 可知倫子
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初ぼくはバッタをさわれなかったけれど、だんだんさわれるようになりました。さわっても全然大丈夫でした。(バッタの)かたさは、ものすごくかたかったです。 ・みんな真剣でした。真剣すぎてあっという間に終わってしまいました。トンボ3つしかとれなかったけれど、3つが大事だと思いました。 ・まず、黒いトンボをつかまえました。止まっていたからつかまえやすかったです。次にキタテハ蝶をつかまえました。模様があってかっこよかったです。次にショウリョウバッタをつかまえました。草みたいで見つけにくかったです。 ・普通のバッタは簡単だけど、ショウリョウバッタの大きいのは近づいただけで逃げちゃうので網を長くしてバッタから遠いところでとりました。 ・ぼくはトンボを大量にとりました。ぼくはすごくうれしかったので、もっととりたくなりました。こんなにとれるなんておもいませんでした。 ・虫取りが終わって学校に帰ってきてから、虫の細かいところを見て全体を描いたら、いつもより絵が上手になった気がしました。 ・百瀬さんが、「足が6本あるのが昆虫です。」と教えてくれました。クモやダンゴムシは違う仲間だそうです。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>はじめは、昆虫に触れなかったり、すぐにきゃーといって逃げの子もいた中でしたが、百瀬さんにまず採り方やコツを教えていただいたり、みんなで夢中で追いかけることで、どの子も楽しみながら昆虫をつかまえることができました。百瀬さんはつかまえられない子のそばに行って声をかけて下さりおかげで、どの子も帰るまでには昆虫を手にすることができました。また、百瀬さんには、事前に虫がたくさんいるポイントを探していただいたことがとてもありがたかったです。教室に戻ってから授業をして下さり、捕ってきた虫のこと昆虫のことを教えて下さりとてもありがたかったです。</p>	

<p>授 業 名</p>	<p>水の生物の観察会 【おためしプログラム】</p>
<p>実施学校名</p>	<p>田川小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>2年1組 18人 2年2組 18人 計36人</p>
<p>担当者</p>	<p>2年1組担任 稲田 祐美</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成26年9月5日(金)</p>
<p>講師名</p>	<p>川と自然と文化研究会 (NPO)</p>
<p>実施概要</p>	<p>○学校の近くの田川で生き物探しをする。 魚や水生昆虫を探し、手やタモで捕まえた。何もいないように見える川でも、岩の下を中心にいろいろな生き物がいることに驚いていた。ウグイなどの魚、カゲロウやトビゲラの幼虫など次々と見つかり、普段は虫を触れない子も夢中で捕まえていた。</p> <p>○学校に戻り、田川の水についてと、昆虫の体の仕組みや一生についてお話を聞く。</p> <p>○今日捕まえた生き物の観察をして、観察記録を書く。 水生昆虫も蝶と同じく、さなぎになってその後飛ぶことを知り、とても驚いていた。また、良く似た姿の幼虫も名前が違うこと（この日カゲロウだけで8種類、全部で16種類の生き物を見つけた）や、昆虫は足が6本あるが、全部胸から生えていることを教えてもらい、興味深く観察した。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>さあ、さがそう。なにがいるかな</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>見て 見て とったよ</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>いっしょにつかまえよう</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ピンセットでそっとつまむよ</p> </div> </div>

実施状況
(授業風景)



よく見てごらん 虫の体



そっくりに書けるかな

記入者 稲田 祐美

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・川の中の生き物を捕まえるのは初めてでした。5匹ぐらい捕まえられて楽しかったです。
- ・川の中に何もいないと思っていたけど、たくさんの生き物がいてびっくりしました。
- ・魚が捕まえられてとってもうれしかったです。おうちに持って帰っておうちの人にも見せます。
- ・岩の下にたくさんいるって分かったから、友だちと力を合わせて岩の下を探しました。協力してできて良かったです。
- ・虫は、足が6本あることが分かりました。今日は絵が上手に描けて良かったです。
- ・40年前より川の水が少しきれいになっていたと分かって良かったです。
- ・生き物探しをして、やる前より生き物が平気になりました。虫が触れてうれしかったです。

2 先生方の感想、要望等

講師の2人の先生が、採集活動が大好きで、生き物に夢中になって「ほら、そこにいるぞ。」「わあ、さっきとちがうなあ。これはヒゲナガカワトビケラだよ。」というように、子どもとともに採集をしてくださり、子どももどんどん熱中していった。熱意と専門性のある方と活動でき、楽しく川で遊ぶことができた。

準備段階には、学校周りの川を一緒に下見していただき、生物採集のコツをお聞きできた。2年生という発達段階を考慮して授業の川を相談の上決め、当日は、観察用のピンセットやシャーレ、小皿など必要な用具も用意していただき、採集から観察記録までの流れが、とてもスムーズでありがたかった。

川での学習ということで、雨天の場合、水量が増した場合、というように細かく打ち合わせをした。安全第一で学習を進めていただき、当日も子どもたちが疲れる前に採集を終了した。

授 業 名	田川の歴史（犀川通船の歴史）	【おためしプログラム】
実施学校名	田川小学校	
実施学年、学級 参加人数	3学年2学級 参加人数47名	
担当者	1組担任 安江 愛 2組担任 矢口 貴子	
実施日（期間）	平成26年12月9日（火）	
講師名	松本文書館 特別専門員 小松 芳郎 先生	
実施概要	<p>学区内を流れる田川の歴史についての話をお聞きした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船着場だったところの昔と今の違い。 ・船は、どこまで行ったのか。 ・入船橋について 	
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>学区内にある船着場跡を知らせる石碑の写真や、船着場の昔と今の写真を見せていただきながら、気がついたことを発表したり、説明を聞いたりしている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>田川の船着場から、信州新町にまで船が行くことを知り、地図で航路をたどった。「遠い！」とびっくり。</p>	

実施状況
(授業風景)



船が使われなくなった理由について、あれこれ考えた。

記入者

3年1組担任 安江 愛

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等





- ・自分たちのよく知っている田川に船が通っていたなんて、びっくりした。
- ・船着場の写真を比べると、昔は、たくさんの船や人で、船を見ている人もいっぱいいる。
- ・田川から信州新町まで7時間で行くことができるので、船ははやくてびっくりした。
- ・帰りは5日もかかって、荷物をつんだ船を引っ張ってくるなんて、大変だと思った。
- ・昔と今の写真を比べて、いろいろなことを見つけられて、楽しかった。
- ・他にも、昔のことがわかるものを見つけてみたい。


2 先生方の感想、要望



地区探検（1学期）では取り上げられなかった「船着場」でしたが、お話をお聞きすることで、大変重要な船着場であったことがわかりました。また、昔の写真と今の写真を比べることで、同じところや違うところなどが子どもたちにとってもわかりやすく、たくさん考えたことを発表したり、興味深くお話を聞いたりすることができました。家に帰って、早速田川のことを話した子もいました。3学期の社会「むかしの暮らし」につながるお話でした。ありがとうございました。



3 その他

中信地区環境教育ネットワークの中林さんには、長野県の地図を用意していただき、田川から信州新町までの航路を実際に確認することができました。子どもたちの驚きにつながっていました。ありがとうございました。

授 業 名	やさしい放射線の実験教室
実施学校名	会田中学校
実施学年、学級 参加人数	3 学年 3 2 名
担当者	小林 拓也教諭 他 3 学年担当職員
実施日（期間）	平成 2 6 年 7 月 1 5 日 (火)
講師名	株式会社 環境技術センター NPO 地域づくり工房
実施概要	<p>講義 ・放射線について，エネルギーについてなど</p> <p>実験 ・放射線測定器を用いた測定実験(校舎内外各所の測定) ・軌跡の実験</p>
実施状況 (授業風景)	<p>初めに宮澤先生より「放射線って何だろう」ということでパワーポイントを使いながらわかりやすくお話をいただきました。</p>  <p>実験では放射線を目で見えるように用意をいただき、観察をしました。放射線が目で見えることに生徒はびっくりしていました。</p>   <p>放射線の測定をグループごとに行いました。外に出るグループ、学校内を調べるグループなど様々でしたが、身近にも放射線があることに驚いていた生徒も多くいました。</p>  

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>調べてきた放射線の数値を校舎地図に貼り付け、感想、気づき、疑問について付箋に書き出しました。その後発表しあい、友の学びを共有する時間となりました。</p> 		
<p>授業について</p>	<table border="1" data-bbox="478 483 1474 555"> <tr> <td data-bbox="478 483 715 555">記入者</td> <td data-bbox="715 483 1474 555">小林 拓也</td> </tr> </table> <p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>○放射線が身近なところにもあることがわかりました。キャンプで昔使っていた道具にあるなどビックリしました。放射線は悪いだけでなく、品種改良などにも使われるので良い部分もあることがわかりました。</p> <p>○放射線がいろいろな場面で使われているということを学びました。今まで放射線というのは害のあるものだけだと思っていたけれど、研究の役に立ったり、何かを創り上げるときに必要とされていたりすることを知りました。また、私たちの周りにも普段から様々な種類の放射性物質があることも学びました。</p> <p>○自分たちの周りにも放射線が存在していてビックリしました。機械でいろんな場所を調べました。駐車場、石、草など・・・。「こんなに放射線があったんだ」と班のみんなでビックリしながら記録をしていきました。地震にあった福島の人達は、すごく不安な思いだったんだなどこの学習を通して学び、他人事ではないと思いました。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>放射線というとただただ危ないものという印象を受けている子どもたちでしたが、この学習を通して実際に身近に使われていること、放射線はどこにでもあるなど正しい知識を身につける機会になったのではないかと思います。放射線を今後どうしていくべきか、生徒達は考えなければいけないときがくるのではと感じます。その時に危険性も知りつつどう考えていくのかのきっかけをいただきました。</p> <p>最後の意見交換の時間は非常に良かったので、さらに時間を増やしてもらえるとありがたいです。</p>	記入者	小林 拓也
記入者	小林 拓也		

<p>授 業 名</p>	<p>水ってなあに？</p>
<p>実施学校名</p>	<p>会田中学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>2 学年（48 名）</p>
<p>担当者</p>	<p>松島 裕 教諭 2 学年担当職員</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成26年10月15日（水）</p>
<p>講師名</p>	<p>株式会社 環境技術センター</p>
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地球上の水循環 ・水の飲み比べ ・水質実験（硬度、残留塩素）
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 20px;"> <div style="flex: 1;"> <p>水の分子モデルを紹介して もらうなど理科の復習から 授業はスタート。</p> </div> <div style="flex: 1; text-align: right;"> <p>→</p>  </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1; text-align: left;">  </div> <div style="flex: 1; text-align: right;"> <p>←</p> <p>雨水が地面に浸み込む様子 を観察した。 乾いた土地（左）では、表 面を水が流れ、湿った土地 （右）では、地下に浸み込む ことがわかった。</p> </div> </div> </div>

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p style="text-align: right;">→</p> <p>学校の水道水、東京の水道水、フランスのミネラルウォーターを飲み比べ。どれが美味しいかな？</p>  <p style="text-align: left;">←</p> <p>残留塩素の測定実験。同じ水道水でも違いがあることがわかった。</p> 		
<p>授業について</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">記入者</td> <td>吉田 正人</td> </tr> </table> <p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「森がなければ良い水は作れない。」この言葉を聞いて、水は何回も循環するけど、自然がなければ人々は生きていけないのだと思った。 ・水は循環をされていて、そのおかげで毎日水を飲むことができていたことがわかった。周りの自然を守ることが大切だということがわかった。 ・外国の水や東京の水などを飲み比べてみて、四賀の水のおいしさがわかった。有難くいただきたいなと思った。川の水も、あとで使う人がいるんだということが知れたので、汚さないように気をつけたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ESD学習の一環として、地域の水に興味を持つ生徒がいたので、水の種類や味などを実際に飲み比べたり、実験したりするなどの体験を通して学習できたことは良かったです。 ・水を手に入れるためには、森林など周りの自然が必要なんだということがわかり、さらに身近な自然に目を向けるきっかけになったと思います。 	記入者	吉田 正人
記入者	吉田 正人		

授 業 名	竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり 【おためしプログラム】
実施学校名	芝沢小学校
実施学年、学級 参加人数	4 学年 1 学級 男子 15 名 女子 10 名 計 25 名
担当者	4 年 1 組 担任 小山 敏彦
実施日（期間）	平成 26 年 11 月 21 日（金）
講師名	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと）
実施概要	<p>1 竹のキャンドル作りと蜜蝋からの蝋燭作りでは、講師の方から竹や蜜蝋についての話を聞き、資源の活用方法について学んだ。</p> <p>2 講師の方の指導で、竹にドリルで穴を開けたり、ノコギリで切ったりして安全に活動でき、自分だけの竹のキャンドルを製作することができた。</p>
実施状況 (授業風景)	 <p>竹のキャンドルと蜜蝋についての話を聞いています</p>  <p>蜜蝋を紙コップに入れていきます</p>

実施状況
(授業風景)



自分がデザインした模様を竹に描いています



ドリルで穴を開けています

紙ヤスリで最後の磨き中

記 入 者

4年1組 担任 小山 敏彦

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・講師の先生に手伝ってもらって、上手に作れてよかった。
- ・ドリルの穴開けが難しかったけど、楽しかった。
- ・「先生が竹を押さえてくれたので安全にできたよ。」
- ・穴を開ける場所が小さかったときに、優しく声をかけてくれてうれしかった。
- ・初めての経験で難しかったけど、上手に作れたよ。
- ・蝋燭に灯をつけたらとてもきれいでした。

2 先生方の感想、要望等

講師の先生に優しくアドバイスをしていただいたおかげで、安全に作業をすることができ、子ども達も夢中になって制作することができました。特に、ドリルやノコギリなどの機械での作業には、竹を押さえていただくなど、補助をしてもらいながら制作することができました。

12月19日(金)には、松本駅前で冬のキャンドルナイトで展示していただき、参加した児童はとても感激したようでした。半日の授業でしたが、とても充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

授 業 名	マイ箸づくり
実施学校名	二子小学校
実施学年、学級 参加人数	4 学年 2 学級 参加人数 43 名
担当者	4 年 2 組 担任 内貴 良宏
実施日（期間）	平成 26 年 12 月 5 日（金）
講師名	^{かな} 寿 鉦の会
実施概要	1 会の方の指導で、ヒノキの端材を削って自分だけのマイ箸を作った。
実施状況 (授業風景)	   

授業について	記入者	二子小学校 内貴良宏
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>初めてナイフで木を削ったけど、楽しかった。 自分の箸を作れて嬉しかった。 ナイフを使うのが初めは怖かったけれど、わかりやすく教えてもらったので、楽しくできた。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>道具の扱い方について丁寧に子ども達に教えていただき安全に行えた。 のこぎりでも生活の中で使う経験がなく、良い体験ができたと思う。 自分が使う物を作ることができたので、良かった。</p>	

授 業 名	生ごみ処理機を使用した堆肥作り	
実施学校名	中山小学校	
実施学年、学級 参加人数	4 学年 1 学級 参加人数 2 1 人	
担当者	今井 文	
実施日（期間）	平成 2 6 年 6 月 5 日 (木) ~ 1 0 月 2 2 日 (水)	
協力団体名	株式会社 キクイチ	
実施概要	生ゴミ処理機を使って家庭から出た生ごみで堆肥を作る活動をした。	
実施状況 (授業風景)		生ごみ処理機「はらぺこくん」の使い方について説明を聞く。
		生ごみ処理機「はらぺこくん」で、どのように堆肥が作られるのかについて説明を聞く。

実施状況
(授業風景)



「はらぺこくん」に、家から持ってきた生ごみを入れる。



「はらぺこくん」に生ごみを入れ終わり、キクイチさんに回収し、堆肥化していただく。

※3学期にキクイチさんにできた堆肥を届けていただく予定

記入者 今井 文





授業について



1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・捨ててしまうごみが、「はらぺこくん」で堆肥になって、また使えるものになるなんてすごいし、エコだと思った。ごみが減っていいと思った。
- ・「はらぺこくん」の中に最初に入れた微生物が、生ごみを食べて分解していくことをキクイチさんに教わった。どうやって堆肥になるのか分かってよかった。
- ・「はらぺこくん」で作られた堆肥を来年畑にまいて、いろいろな作物を作りたい。自分の家の畑や、他の学年の畑にも使ってもらいたい。



2 先生方の感想、要望等



- ・自分たちで持ってきた生ごみが「はらぺこくん」で堆肥になっていく過程を実際に見せていただいたことが、子どもたちにとってとても貴重な体験となりました。また、そのことで、子どもたち自身にごみを減らしていこうという気持ちが育ったように思います。微生物の凄さにも気づくことができました。
- ・子どもたちは実際に畑で作物を育てており、作物を元気に大きく育てる上で、堆肥が欠かせないことも分かっています。キクイチさんから、「はらぺこくん」で作られた堆肥は安全であるということを教えていただき、来年度自分たちや他学年が育てていく畑や自分の家の畑にぜひ使ってみたいという気持ちが生まれました。安心・安全な作物作りにも意識を向けることができました。ありがとうございました。

授 業 名	木の授業とバウムクーヘン作り
実施学校名	会田中学校
実施学年、学級 参加人数	3学年 32名
担当者	小林拓也教諭 他3学年担当職員
実施日（期間）	平成26年11月20日(火)
講師名	寿さと山くらぶ
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・バウムクーヘンと年輪について ・炭と竹を使ったバウムクーヘン作り
実施状況 (授業風景)	<p>炭に火を起こしてもらっている間に年輪の話の話を聞きました。年輪を見るとその年の気温や方角もわかるということです。バウムクーヘンもこの年輪に関連していることがわかりました。</p>   <p>バウムクーヘンの生地を作りました。卵を割ったり混ぜたりと協力しながら行いました。</p> <p>竹に生地をかけて焼いていきます。回し方や生地につけ具合によって様々な形のバウムクーヘンが出来ていきます。交代しながら全員で作って行きました。</p>  

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>バウムクーヘンの完成です。切ってみると年輪がしっかり見え美味しそうです。少しスモークの味もしましたが、みんなで美味しく食べました。家族へのお土産も出来ました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
<p>授業について</p>	<p>記入者</p>	<p>小林 拓也</p>
<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>○竹に生地をつけてくるくる回しながら焼いていきました。最初は本当に薄っぺらくて「これがあんなに太いバウムクーヘンになるの？」と疑問でした。しかし、どんどんやっていくうちの太くなる生地。すごく良い匂いがして早く食べたくまりました。顔が赤くなるほど熱かったけれど、竹から抜いて切ったとき感動しました。ふわふわで美味しいバウムクーヘンになりました。</p> <p>○二人組で竹に材料をつけて焼いた。何度も材料をつけて回して協力して出来たと思うし、きれいな年輪のような形に完成したのでよかった。</p> <p>○講師の先生は木の年輪の出来方をバウムクーヘンの層の出来方に例えてお話してくださいました。あまり、木のことについて調べたことがなかったので木から季節の様子がわかることにビックリした。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>自然のものを使いながら美味しいバウムクーヘン作りができ、生徒も満足していました。年輪と結びつけたお話、そして協力しながらの作業、美味しいバウムクーヘン。とても楽しく勉強になる時間でした。</p>		

<p>授 業 名</p>	<p>木の授業とバウムクーヘン作り</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>会田中学校</p>	
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>2 学年（48名）</p>	
<p>担当者</p>	<p>吉田 正人 教諭 2 学年担当職員</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成26年11月6日（木）</p>	
<p>講師名</p>	<p>寿さと山くらぶ</p>	
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木材バイオマスの利用 ・ 炭の効能，炭作り ・ バウムクーヘン作り 	
<p>実施状況 (授業風景)</p>		<p>← 学有林から授業で使う竹を切り出す。普段、木や竹を切ることがないためか、苦勞する生徒もいた。</p>
	<p>→ バウムクーヘンの作り方を教わって、作業開始。</p>	

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>← 学有林の木材を使って、炭も作りました。 (この炭は3年生がバウムクーヘン作りで使いました。)</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>→ バウムクーヘンも上手に焼き上がりました。 この後、切り分けて早速食べてみました。</p> </div> </div>		
<p>授業について</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 5px;">記入者</td> <td style="padding: 5px;">吉田 正人</td> </tr> </table> <p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バウムクーヘンの作り方がわかったし、バウムクーヘンは木の年輪のお菓子という意味があることがわかった。 ・竹の切り方がわかった。木や枯れ草などで燃料を作って、燃やして、火を作っているのが印象に残った。 ・縄文時代から生えている縄文杉の存在や、木の断面を見ればその時代の気候がわかるということが知った。 ・バウムクーヘンを作る時に何度も生地をつけていったように、木も太い幹になるまでに苦労しているんだなあと思いました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の周りにある自然を利用して、学習する貴重な経験ができたと思います。バウムクーヘンという食べ物を作りながら、年輪や炭の活用など自然環境について興味をもつ生徒が多かったです。 	記入者	吉田 正人
記入者	吉田 正人		

<p>授 業 名</p>	<p>木の授業と鉛筆立て制作</p>
<p>実施学校名</p>	<p>島立小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>5 学年 参加人数 4 2 名</p>
<p>担当者</p>	<p>5 年 1 組 担任 木村令子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成 2 6 年 1 0 月 2 3 日 (木)</p>
<p>講師名</p>	<p>寿さと山くらぶ</p>
<p>実施概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校周辺にある木を見ながら、それらの木々の特性を教えてもらい、木の持つ味わい、幹の大きさ、実の様子を観察した。 2 学校周辺の木について学んだ後、鉛筆立てを制作するための材料を集める活動を行う。どんぐり、葉っぱ、小枝など自分の気に入ったものを集めた。 3 太い丸太をのこぎりで切り、鉛筆立ての土台となる部分を作り、自分で拾ってきた材料で、自分の発想を生かしながら制作し、オリジナルの鉛筆立てを制作した。
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>丸太を切る</p>  <p>どんぐりや葉っぱや枝を組み合わせ飾る</p> 

実施状況
(授業風景)

作品例



1、授業をして子どもの反応・様子

- 丸太を切ることがとても大変だったけれど、どんぐりや枝をホットボンドでつけてえんぴつたてができてうれしかった。
- 大きな木をのこぎりで切る時には、少し大変だったけれど、教えてくれて切ることができて、良かった。
- えんぴつ立がうまくできてうれしかった。家で使いたい。

子ども達は、とても夢中になって作品を制作しました。学校周辺の木のみや枝や葉っぱを夢中になって拾い、自分で拾ってきた材料を楽しみながら、えんぴつたてに装飾した。それぞれのオリジナルな作品となった。

2、先生方の感想・要望

○一人ひとりに丁寧に指導を行っていただき、各自が満足する作品に仕上がった。

○木の学習をしてから制作に入ったことで、木を学び、そして、自然物を使って造形作品をつくるという流れがとても良かった。自然を学ぶと同時に作品制作によって、身近なものが変身して作品となることを実感することができた。

○大きな丸太の木をのこぎりを使って切る活動は、普段の生活の中ではなかなかできない体験で、やりがいがあった。のこぎりの使い方はもちろん抵抗感のある木を力を入れて、切り続けるという経験がとても貴重な経験となった。

○出来上がった作品をみると自然のものを材料に使いながら様々な発想のある作品が出来上がり、子どもたちもとても満足した。

<p>授 業 名</p>	<p>木の授業とバウムクーヘン作り</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>高綱中学校</p>	
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>5組（特別支援学級）6名</p>	
<p>担当者</p>	<p>5組担任 古川 真美 副任 中川 満英</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成26年8月4日（月）</p>	
<p>講師名</p>	<p>寿さと山くらぶ</p>	
<p>実施概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 木の年輪について、樹木の育った年数や冬の寒気が強かった年が分かることを説明いただいた。 2 木をサンドペーパーで磨き、クリップを貼り付けることで名札を作った。 3 卵、バター、小麦粉を混ぜて生地を作り、炭火と竹を使ってバウムクーヘンを作った。竹の特徴も教えていただき、自然を大切にすることを意識を高めることができた。 	
<p>実施状況 (授業風景)</p>		
	<p>木の特徴について説明いただく</p>	<p>木の年輪を数え、名札を作る</p>
		
	<p>炭への火のつけ方の指導</p>	<p>生地の作り方の指導</p>

実施状況
(授業風景)



竹に生地をつける指導



生地を焼く指導

記入者

中川 満英

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

知的障害児学級生徒6名で授業を行った。生徒全員が、昨年度に本事業で行った「竹筒と蜜蝋を使ったキャンドル作り」で環境教育に大変興味を抱いており、今回も熱心に活動に取り組むことができた。

どの生徒も集中して講師の先生の指導を受け、大変よい表情で活動を終えることができた。

2 先生方の感想、要望等

事前の打ち合わせ段階から、丁寧な対応をしていただき感謝している。当日は講師の鈴木先生には、熱心に温かい雰囲気指導していただき、どの生徒達も励まし合いながら、楽しく活動に取り組むことができた。

また、活動の様子を文化祭で発表することで、生徒達も自信をつけることができた。保護者の方々も大変喜んでいました。ありがとうございました。

3 その他

指導していただいた「寿さと山くらぶ」の鈴木先生には、本当に丁寧に関わっていただいたことに感謝したい。

授 業 名	木材の活用法 【おためしプログラム】
実施学校名	菅野小学校
実施学年、学級 参加人数	3 学年 119 名
担当者	可知倫子 北沢寿明 手塚悦子 田澤真美
実施日（期間）	平成26年10月29日（水） 平成26年11月11日（火）
講師名	松本市林業士会（共同実施団体：寿さと山くらぶ）
実施概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 木の話（木の種類、木によって香りが違う等）と、ペン立ての作り方の説明を聞いた。 2 木を切ったり穴を開けたり飾り付けを行った。 3 出来上がった作品を見ながら、講師の先生から講評を聞いた。
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>講師の先生のお話</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>木を切る</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>皮をはいで磨く。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>飾り付け</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>飾り付け</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>講師の先生の講評</p> </div> </div>

授業について	記 入 者	3年3組 手塚悦子
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は、「うまく作れるかな。」と心配していた。でも、やってみたらうまく作れた。 ・木工教室で一番むずかしかったことは、ヒノキの皮むきです。ヒノキの皮には、いっぱいこなのような物が入っていて、それを取るのがむずかしかったです。 ・のこぎりで木を切るのがむずかしかったです。木は、すごくかたかったので、たいへんでした。 ・のこぎりで木を切る時に、力いっぱい切らないと切れないんだとわかった。 ・のこぎりで木を切るのが楽しかった。 ・木にデザインするのが楽しかった。 ・秋に落ちてる葉っぱや実は、こんなに楽しいことができるんだと思った。 ・グルーガンでいろいろな物をくっつける時に、くっつきにくくてむずかしかった。 ・木工教室の先生がとてもやさしくて、うれしかった。 ・ぼくは、木を切ったり切った木にかざりつけをするのがとても楽しかったです。あと、木のにおいがとってもいいにおいでした。 ・木に物をつけるのにグルーガンでつけてかんせいしたら、すごくうれしかった。 ・いいのができて、うれしかったです。また、やりたいです。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木のお話等専門的なお話もお聞きすることができよかった。 ・何人もの子ども達が「木のにおいがとってもいいにおいでした。」「使った木は、なんかいいにおいがした。」等、木の香りを肌で感じ、感動したようです。 	

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	四賀小学校
実施学年、学級 参加人数	3～6年 110名
担当者	宮坂 到
実施日（期間）	平成26年5月19日（月）
講師名	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントで地球温暖化の現状や将来の予想を知る。 ・緑のカーテンの効用を知る。 ・朝顔・西洋朝顔・ゴーヤの播種と定植を行う。
実施状況 (授業風景)	 <p>平均気温が高くなる地域は赤く色がついています。みるみる赤い地域が増えていくので、どよめきが起きました。</p>

実施状況
(授業風景)



朝顔が大きく育つようにと一粒ずつ丁寧に播種しました。

記入者 宮坂 到

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・100年後には地球中が赤くなって、平均気温がどんどん高くなっていてしまうことが分かった。このままではいけない。
- ・何とか地球温暖化を防ぎたい。
- ・こまめに節電をしようと思う。
- ・朝顔が大きく育って、涼しくなればいいな。

2 先生方の感想、要望等

- ・竹やネット、種子や苗などの準備や棚の設置を全て行っていただき、ありがたかった。
- ・新築の校舎で、昨年度の夏は教室が暑く大変だった。少しでも涼しくなってくるとありがたい。
- ・地球温暖化の説明がやや難しかった。もう少し易しい言葉で短めの学習時間にしても、子どもたちの地球温暖化に対する危機感自体は変わらず高いものが期待できると思う。

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	今井小学校
実施学年、学級 参加人数	1、2学年 参加人数51名
担当者	中山 豊 野村 文恵
実施日（期間）	平成26年5月26日（月）
講師名	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園
実施概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 緑のカーテンがあることで、どのような効果があるのか、造園会社の方からパワーポイントを使って教えていただいた。 2 カーテンの基礎となる場所に、種をまいた。 3 夏休み中は当番を決めて、水やりをした。
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>造園会社の方からの説明</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>一人ずつ種をまきました</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ぐんぐん成長しました</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>緑のカーテンを描きました</p> </div> </div>

授業について	記入者	中山 豊
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちがまいた種と同じように、大きなあさがおが、咲いてほしい。 ・緑のカーテンができると、教室の中が涼しくなりそう。 ・環境のために、緑のカーテンを作ることが分かった。家でもあまりエアコンを使わずに、緑のカーテンとかができるというなあと思った。 ・家にも緑のカーテンがあるけど、もう大きくなりだしているよ。 ・どんな緑のカーテンになるのか、今から楽しみだな！ <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>単にあさがおの種のまくだけではなく、どうして緑のカーテンを作るといいのか？ということ子どもたちに分かりやすく、説明してもらい、ありがたかった。子どもたちは、意欲を持って水やりや周りの雑草取りをしてくれた。去年の種が落ちて、かなりの数の種が、土に埋まっていたようで、とても盛大な緑のカーテンが出来上がった。カーテンをバックに、絵も描くことができ、子どもたちにとっては、自たちが育てている1鉢のあさがお同様立派に育て上げた様子が見られた。</p> <p>たくさんの花が咲き、種もたくさん落ちたので、来年の緑のカーテンも盛大に伸びそうな予感がします。</p> <p>来年度も、環境教育の一環として続けていきたい。</p>	

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	開智小学校
実施学年、学級 参加人数	6年57人
担当者	小嶋千恵子（該当学年担任： 関 雅夫 五明佳代 ）
実施日（期間）	平成26年5月20日（火）～11月下旬
協力団体名	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑のカーテンがなぜ必要なのか、地球温暖化の視点より、奥原造園の方からお話を聞く。 ・ 緑のカーテン作りの実際。（種のまき方、水の与え方、つるの増やし方、肥料の与え方等） ・ 以後は各学級の世話によりカーテン作りを進めた。
実施状況 （授業風景）	 <p>緑のカーテン作りに参加する各学級が奥原造園の方より地球温暖化についてお話を聞く。</p>

実施状況
(授業風景)



・土に肥料を混ぜ込み種まきを行った。水をまいたところにおよそ5センチ間隔で2粒ずつの種をまいた。

・水やりと間引きなど世話を続けた。



記入者

五明佳代

授業について



1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・暑い時期に電気をあまり使わず過ごすには緑のカーテンが必要だと思う。
- ・去年の緑のカーテンよりもたくさん葉を茂らしてほしい。
- ・地球温暖化があんなに進んでいるとは思わなかった。少しでも緑を増やして冷房をつけなくてもいいようにしたい。
- ・水をたくさんあげて緑のカーテンになるようにしたい。
- ・保健室前にも育てるので、見ても涼しくなるようにしたい。

2 先生方の感想、要望等

- ・去年の反省から土を深く掘り元肥も多めに入れてみた。しかし、まだ固い土で水が浸透する様子があまりなく、雨に救われた感じである。
- ・他の種のアサガオと比べても葉と花の大きさが小さかったので大輪の花の種がほしい。
- ・散水のためのホース等の整備もお願いしたい。(学校のものも用意したが、子どもが使うとすぐ壊れたり紛失したりするため)
- ・種をまくにあたって奥原造園の方に棚(網)を作っていただきありがたかった。
- ・地面下20センチメートルほどで砂利が出てきてしまうので、土作りを来年はお手伝いいただきたい。

<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン設置指導</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>鎌田小学校</p>	
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>1学年（5学級151名）・4学年（1学級29名） 特別支援学級（3学級17名）</p>	
<p>担当者</p>	<p>木船暁美 御園亜季 鈴木秀朗</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>1、4年：平成26年5月16日（金） なかよし、ひまわり：平成26年5月22日（木）</p>	
<p>協力団体名</p>	<p>松本市緑化協会 株式会社 奥原造園</p>	
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・奥原造園さんから、グリーンカーテンについてのお話をお聞きし子どもたちは、暑い夏でも快適に過ごせることやその効果が省エネにつながることを学んだ。 ・グリーンカーテンとなる植物の育て方を教わり、指導していただきながら実際に種をまき、苗を植えた。 	
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>グリーンカーテンについてのお話を聞きました。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>たねまき 「何色の花が咲くかな」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>8月：大きく育ったみどりのカーテンのあさがおとひまわり 「大きくなったね」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>アサガオのお花で色水をつくり和紙を染めて灯籠を作りました。「きれいだね」</p> </div> </div>	

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;"> <p>「あさがおのズッキーニを採ったぞ!!!」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;"> <p>収穫したズッキーニでソテー作り「とってもおいしかったよ」</p> </div> </div>	
<p>授業について</p>	<p>記入者</p>	<p>木船 暁美 鈴木 秀朗</p>
<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>(1) たねまき 「どうやって芽が出てくるの」「早く芽が出ないかな」「あさがお、どこまで大きくなるのかな」「あさがおのカーテンになるんだね」</p> <p>(2) 花が咲く 「いろいろな色があるんだね」「きれいにさいてくれてありがとう」「もっとたくさん、さくといいな」「あかりをつけるの、楽しみだな」</p> <p>(3) 和紙に染める 「色水、とてもきれい」「色水やさん、楽しかったよ」「おもしろい形にできた」「あかりつけるの、楽しみだな」</p> <p>(4) 栽培活動 ・特別支援学級では、あさがおと一緒にズッキーニやキュウリ、かぼちゃなどの野菜を育てて、販売したり料理を作ったりしてみんなでおいしく食べた。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>・特別支援学級でおこなった栽培活動では、目的がはっきりしていたので、子どもたちは水やりや受粉作業などに意欲的に取り組んだ。野菜の生長する様子を毎日、とても楽しみに観察する姿も見られた。環境教育はもちろんのこと理科の学習にもつなげることができた。</p> <p>・グリーンカーテンの効果について、講師の奥原さんが紙芝居を使って分かりやすく、丁寧に指導してくれた。また、クラスに掲示用の資料もいただき、子どもたちは、体験を通して、楽しく省エネや環境について学ぶことができた。この活動を通して、植物に愛着を持って大切に育てる姿がたくさん見られた。</p> <p>3 その他</p> <p>・教室の前にグリーンカーテンがあったので、日常的に花を摘んだり、種を採取したりすることができた。子どもたちは、あさがおの生長に関心を持つことができた。</p>		

<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン設置指導</p>
<p>実施学校名</p>	<p>菅野小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>1 学年・・・97名 2 学年・・・112名</p>
<p>担当者</p>	<p>1 年・・・名取・佐藤・中沢 2 年・・・町田・田中・手塚・菊池</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成26年5月13日（火） ～ 11月初旬まで</p>
<p>講師名</p>	<p>松本市緑化協会 株式会社 奥原造園</p>
<p>実施概要</p>	<p>①緑のカーテンの効用についてのガイダンス講習会 ②緑のカーテンにふさわしい植物 ③種蒔きのしかた ④生活科の学習を通して单元名「あさがおさんとなかよし」の実施 ・毎日の水やり（あさがおさんおはよう作戦） ・色水遊び ・たたき染め ・たねとり ・リースづくり ・あんどん作り（1月末実施予定）</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>○5月13日 緑のカーテン講習会及び種蒔き講習会</p> <div data-bbox="502 1232 906 1456"> </div> <p>・奥原造園さんに来ていただき、緑のカーテンの効用や適した植物を教えてくださいました。</p> <p>種蒔き</p> <div data-bbox="502 1523 906 1747"> </div> <p>・講習会のあとに、早速外へ出て種蒔きをしました。「ちゃんと芽を出してね。」と声をかけながら、みんなであさがおの種を蒔きました。</p> <p>水やり</p> <div data-bbox="502 1814 906 2038"> </div> <p>・登校すると、毎朝「あさがおさん、おはよう。」と声をかけながら、水をあげて大切に育てました。</p>

実施状況
(授業風景)

○立派に育ったあさがおさんで色水遊び



- ・暑さが増した夏も緑のカーテンのおかげで涼しかったよ。
- ・色水遊びも楽しかったよ。

○育ったあさがおさんからたくさんのプレゼント
種取り リースづくり



○たった一粒の種からたくさんの種がとれたことに大喜びの子ども達でした。ネットの片付けにあたって、リースも作り、手元に残る形となりました。

授業について

記入者

名取 砂由美 (1年)

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・1年間あさがおさんとたくさんなかよくなれたよ。
- ・緑のカーテンにすると夏も涼しくて気持ちがいいな。
- ・毎日がんばってお水をあげたから、あさがおさん大きく育ってうれしかったよ。
- ・おうちでも緑のカーテン育てたよ。(間引きで持ち帰ったあさがおを植えた子もたくさんいました)
- ・あさがおさんからたくさんのプレゼントをもらえてうれしかったよ。あさがおさん、ありがとう。

2 先生方の感想、要望等

- ・子ども達がんばって毎日水やりをして、立派な緑のカーテンができました。土日も交代して水やりもして育てました。水やりをがんばればがんばるだけ、目の前で大きく育つあさがおを見て、世話をする良さを感じ、益々張り切った子ども達の成長ぶりを見ることができました。
- ・是非、来年度もこの活動を継続して下さい。

3 その他

- ・奥原造園さんには、あさがおのネットの設営から片付け及び丁寧な講習会と大変お世話になりありがとうございました。
- ・片付けにあたり、竹は処分して次年度新しくしていただきたい。

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	菅野中学校
実施学年、学級 参加人数	アルプス学級 中2：1人 中3：2人
担当者	飯ヶ濱 日向子
実施日（期間）	平成26年6月4日(水)～7月25日(金)
講師名	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素や酸素の関係等、理科の授業で行われる内容とも関連付けながら、「みどりのカーテン」を育てることが、私たちや私たちの身のまわりの環境にどのような効果をもたらすのかをお話して頂きました。 ・後半は、アサガオの種を実際に蒔きました。①指一本分の穴を開ける②その穴に種を入れる③種の上から土をかぶせる等、種蒔きの方法を子どもたちに分かりやすく教えて頂きました。
実施状況 (授業風景)	

実施状況
(授業風景)



記入者

飯ヶ濱 日向子

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

子どもたちにとって理解しやすく、興味をもって学習できるようお話して下さったので、子どもたちも飽きることなく集中して聞いていました。また、みどりのカーテンを実施することの意義についても事前の説明で把握できていたので、その後の活動（種蒔き）も一生懸命行うことができていました。授業をして頂いた2ヶ月ほど後に、校舎の工事の関係で中庭の植物を抜かなければならなくなってしまい、みどりのカーテンも中断を余儀なくされてしまったのですが、その際の子どもたちの残念がっている様子から、子どもたちのみどりのカーテンへの思い入れの強さを感じました。

2 先生方の感想、要望等

知的障害の特別支援学級であり、かつ言語理解（言葉のみによる説明を理解する力）が難しい生徒も多いですが、パワーポイントやプリントなど、視覚的資料も使ってお話して下さったので、生徒にとっても分かりやすい資料であったと思います。また種蒔きの際も、いきなり活動に入って頂くのではなく、なぜみどりのカーテンが必要かというお話をして頂いた上で種蒔きをさせて下さったので、活動にも抵抗なく取り組んでくれたと思います。来年以降も、このような授業をして頂けると嬉しいです。また他の職員から、職員室前にもみどりのカーテンを植えてほしいという声があがっていました。

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	田川小学校
実施学年、学級 参加人数	1年1組 21名 1年2組 26名 計47名
担当者	1年1組担任 草間 睦実 1年2組担任 吉嶋 哲男
実施日（期間）	平成26年5月21日(水)
講師名	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりのカーテンの役割についてお話を聞く。 ・朝顔の種をもらって、花壇にまく。水やりをする。 ・今後のお世話について話を聞き、お礼を言って終わりにする。
実施状況 (授業風景)	<div data-bbox="437 842 924 1167" data-label="Image"> </div> <p>奥原造園の奥原さんから、みどりのカーテンがどうして必要なのかについてイラストを使って、わかりやすく教えていただきました。</p> <div data-bbox="437 1182 924 1507" data-label="Image"> <p>いつもは元気な1年生も、集中してお話を聴いていました。</p> <div data-bbox="938 1406 1425 1731" data-label="Image"> <p>ひとり4粒ずつ、アサガオの種をもらいました。まるで宝物をもつように、大切に種を扱う姿が印象的でした。</p> <div data-bbox="437 1753 924 2078" data-label="Image"> <p>奥原さんに、種のまき方を教えていただきました。</p> </div> </div> </div>

実施状況
(授業風景)



みんなで種まきです。
早くめが出るというなあ



記入者

吉嶋 哲男

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・「今日はお花や木の専門家の人に来てもらってお話を聞くんだよ。」と奥原さんを紹介して子どもに話をしていただくと、子どもたちは目を輝かせて話を聞いていた。
- ・アサガオの種をもらったときにすごくうれしそうな顔をして喜び、大事に大事に扱いながら種まきをしていた。
- ・その後、アサガオの芽が出るのを毎日楽しみにしている様子が見られた。

2 先生方の感想、要望等

- ・前日までに花壇から2階にまでのびるカーテン用の網を設置していただいていた実施であった。自分たちだけではなかなかできない作業であるので、大変ありがたかった。
- ・専門家（外部の方）からお話を聞くことにより、子どもたちも集中して話が聞け、アサガオに関心をもつことができよかった。

3 その他

- ・機会があれば、ぜひ来年以降もお願いしたい活動である。

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	中山小学校
実施学年、学級 参加人数	2年1組 17名
担当者	担任 丸山 真
実施日（期間）	平成26年5月27日（火）
講師名	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園
実施概要	<p>【グリーンカーテンで、ゴーヤをそだてよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンカーテンを作ることは冷房の節約になり、同時に緑のある環境を日々体感できること、また、作物を植えれば、日々の世話が必要となり、命の大切さを学ぶことができることを講師の話から学んだ。 ・教室のベランダ横花壇を使って、講師指導の下、ゴーヤの定植とアサガオの種まき体験を行った。
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 20px;">  <div style="margin-left: 10px;">奥原さんのお話</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;">皆でゴーヤの定植を体験</div> </div> </div>

実施状況
(授業風景)



ゴーヤが実ったグリーンカーテン



ゴーヤチャンプルーを作る

授業について

記入者

2学年担任 丸山 真

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- グリーンカーテンを作ると、部屋が涼しくなる。
- 電気代がかからなくてエコだと思った。
- 家は植えるところが無いけれど、グリーンカーテンを作ってみたい。
- 教室のベランダにグリーンカーテンができるのが楽しみ。
- ゴーヤが大きくなると、どんなふうになるのだろう。
- アサガオの種まきは知っているよ。水も大事。
- ゴーヤの苗はていねいにやさしく植えないといけないんだ。

2 先生方の感想、要望等

講師の奥原さんには、グリーンカーテンの効用やエコな暮らし方について電子黒板を使って子どもたちにもわかりやすく説明していただいた。また、支柱やネット張り、片付けも行って下さり、日々の業務に追われる担任としては、とてもありがたかった。

種まき、苗の定植を終えた子ども達、当番活動の一環として水やりを続けた。株が大きくなってくると、そのつるの巻き方、葉の形などに興味を持つ子もいた。

ゴーヤが育つと、生活科の時間にそれを「ゴーヤチャンプルー」にして皆で頂いた。ゴーヤが育った喜びを図工の絵に表した。

緑に囲まれた教室で過ごすことは、子ども達にとって、心の安定をもたらすことにつながったのではないか。ときおりゴーヤが揺れる風景はユーモラスでもあり、休み時間には教室を飛び出してゴーヤの生長を喜ぶ子ども達の姿があった。名実共に実り多い一年となったことに感謝したい。

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	波田小学校
実施学年、クラス 参加人数	1 学年 5 学級 14 4 名、特別支援学級（まつかぜ） 1 2 名
担当者	山口 悦子
実施日（期間）	平成26年5月15日（金） 種まきの仕方・あさがおの世話の仕方～ 11月初めまで
協力団体名	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園
実施概要	<p>1 暑い夏をしのぐために、冷房などの電気を使うのではなく、あさがおなどのつる性の植物を育てて気温を下げる工夫があることを講師の話や映像資料で学んだ。</p> <p>2 緑の各教室前の花壇を利用して、あさがおを育て、みどりのカーテンとして、夏場の暑さをしのぐ実感をするとともに、あさがおとの関わりをたくさん経験した。</p>
実施状況 (授業風景)	<p>① 5月15日（木） 種まきの仕方・あさがおの世話の仕方を教わろう 奥原造園さんにきていただき、棚の準備をしていただいた。また大型テレビにスライドを映し出して緑のカーテンの効用についての学習をしていただいた。電気を使ってエアコンや扇風機を使うことによって、地球上に CO2 が増えてしまうことがわかった子どもたちである。自然を利用して、少しでも涼しい環境を作ることは、自分たちの環境を守ることもつながることを知り、緑のカーテンをしっかりと育てて利用しようという意欲喚起にもつながった。</p> <p>② 「大きくなったよ。」 係を中心に交代で水やりをしたり、草取りをしたりして大切に育てた朝顔は、夏休み明けには2階のベランダまで到達した。 たくさん咲いた花を使って、色水遊びも行った。</p>

実施状況
(授業風景)



「あさがおさん、大きくなってね。」



「カーテンの下は涼しいね。」

授業について

記入者 ・山口 悦子

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- 自分たちのあさがおの成長はもちろん、みどりのカーテンのあさがおの成長も日々楽しみにしながら水やりを交代でしていました。
- 「あさがおさんの下、涼しい」とみどりのカーテンの良さを実感していました。
- みどりのカーテンのあさがおも利用してクリスマスにはリースも製作して最後まで楽しみました。

2 先生方の感想、要望等

- 奥原造園の方には、各教室前に立派な棚を作ってください、片付けまで本当にお世話になりました。このような事業を是非継続していただけるとありがたいです。
- パソコンでわかりやすい説明をしながら「みどりのカーテン」の良さを伝えていただきました。1年生の子どもたちにも視覚的に理解しやすい説明でした。

3 その他

- あさがおの種類は、できれば西洋あさがおがいいです。

<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン設置指導</p>
<p>実施学校名</p>	<p>波田中学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>生徒会 緑化委員会 参加人数37名</p>
<p>担当者</p>	<p>緑化委員会顧問 村上昌弘 大月晴嗣 倉石祥満</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成26年5月上旬～12月上旬</p>
<p>協力団体名</p>	<p>松本市緑化協会 株式会社 奥田造園</p>
<p>実施概要</p>	<p>1 アサガオのつるを這わせるネットを設置してもらった。 2 花が咲きほこる花壇づくりを学んだ。 ・土づくり ・植え付け ・水やり ・肥料やり ・除草 ・後片付け</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div data-bbox="464 1003 1114 1485" data-label="Image"> <p>A group of students in white shirts and blue shorts are working in a circular flower bed. They are focused on the plants, some are kneeling and others are leaning over. The bed is filled with various flowers, including yellow ones.</p> </div> <div data-bbox="1129 1429 1294 1462" data-label="Caption"> <p>花壇の草取り</p> </div> <div data-bbox="576 1507 967 2022" data-label="Image"> <p>A vertical view of a building's exterior. A green mesh curtain is installed on the wall, and it is covered with climbing green plants. The building has large windows and a modern design.</p> </div> <div data-bbox="997 1933 1187 2011" data-label="Caption"> <p>できあがった 緑のカーテン</p> </div>

<p>実施状況 (授業風景)</p>	 <p>緑のカーテンによって できた日陰</p>	
<p>授業について</p>	<p>記入者</p>	<p>村上 昌弘</p>
<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>○今年委員で花壇のデザインを決めた。みんなで話し合い花の色や草丈を考え草花を考え決めた。8月ごろたくさん咲いている花壇を想像してみた。</p> <p>○3階部分まで伸ばすには夏の水やりが大事だということを教えられた。夏休みにたっぷり水をやると下に向いていた葉がピンとなり、張りがある葉になった。また、元気に育っていけるように思えた。</p> <p>○2週間ごとの生徒会の時間は他の委員会は25分で終わりになるが、緑化委員会はいつも1時間以上の草取りをやっている。途中嫌になってしまいが、取り終わらないと終わらないので頑張っている。終わって草のない花壇を見るとなんだかうれしくなる。きっと花もうれしいんだろうな。そのようなことを講師の先生が言っていた。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>○緑のカーテンづくり2年目は、3階の手すりまでネットを伸ばしカーテンにすることを課題にポイントを教えてもらった。管理も昨年度の反省を活かし、実施したところ2階部分はよいカーテンになった。しかし、使用した品種がカーテン向きでなかったため1階部分の葉が落ちてしまうことがあった。来年度は適した品種を使いたい。</p> <p>○液肥を週に1回やったが、下葉が黄色くなったことからまだ不足していたようだ。来年度はもっとやらなければいけないようだ。</p> <p>○生徒会活動の中で、環境に関わった授業ができなかったが、来年度は栽培技術だけでなく、環境問題と関わらせた取り組みにしたい。</p>		

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	源池小学校
実施学年、学級 参加人数	4 学年（1、2 組） 5 4 名
担当者	武田光雄 和田拓子
実施日（期間）	平成26年6月3日（火）
講師名	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ PowerPoint による地球温暖化に関する講義 （地球温暖化の現状やこのままだと今後とどうなるか、自分たちが できることは何か、緑のカーテンの効果や管理について） ・ 緑のカーテンとなる朝顔の種まき
実施状況 （授業風景）	 <p><地球温暖化と緑のカーテンの効果> 世界地図で気温の変化を、色で分かりやすく説明してもらい、直面している温暖化への理解を深めることができた。また、身近にできる対策として、CO₂ を排出しないことや緑のカーテンづくりなど、考えるきっかけとなった。</p>

実施状況
(授業風景)



<朝顔の種まき>

水やりをするときに、汲み置いた水を使った方がよいことなど、世話のしかたを教えてもらった。

記 入 者

武田光雄

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・便利につかっている車や冷暖房が、二酸化炭素を多く出すことが分かった。エンジンを切ったり自転車に乗ったりすることが必要。
- ・暑いせいで野菜や果物が育たないというのは驚いた。
- ・エコバックをもったり風呂の残り湯で洗濯をしたりすることも効果があると分かった。
- ・人間が出す二酸化炭素を吸収してくれる植物を育てることはよいことだと思う。
- ・エアコンの温度設定も気をつけたい。

2 先生方の感想、要望等

社会問題化している地球温暖化を、身近な視点から考えるよい機会となった。50年前から100年後までの地球の温度変化を見て、多くの子が驚き、その理由を知ろうとしていた。生活を便利に快適にする中で、犠牲になっている自然環境があることに気づき、自分たちでもできる対策を考えられたことはとても有意義だった。

緑のカーテンの朝顔は、水やり当番を決めて、責任を持って育てようとする姿があった。たくさんのつるが自分たちの教室より高く伸びていき、植物の生長を感じながら生活できた。



3 その他

奥原造園の方には、授業や緑のカーテンの準備や撤去まで大変お世話になり、助かった。

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	芳川小学校
実施学年、学級 参加人数	4 学年 4 学級 参加人数 1 2 0 名
担当者	4 年 3 組 担任 松澤 知佐江
実施日（期間）	平成 2 6 年 5 月 2 8 日（水）
講師名	松本市緑化協会 株式会社 奥原造園
実施概要	<p>講師の奥原さんよりお話をお聞きして、下記について学んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化について ・緑のカーテンの効果について
実施状況 (授業風景)	 <p>奥原さんのお話を、興味深くお聞きする子ども達</p> 

授業について	記 入 者	4 学年担任 松澤 知佐江
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテンという言葉は聞いたことがありますが、暑さをふせげるなんて知りませんでした。私はこの授業を受けて、クーラーやせん風機、電気をむやみに使ってはいけないこともわかりました。 ・緑のカーテンは、かんきょうによいことがわかりました。身の回りの物や電気など、むだ使いはやめようと思いました。 ・地球温暖化が進んでいったら、地球がマグマみたいに暑くなってしまうかもしれません。ぼくは、この勉強をしなければ、緑のカーテンや地球温暖化について知らないまま大人になるところでした。奥原先生、本当にありがとうございました。 ・地球温暖化について知れてよかったです。このまま対策をしないでいると、50年後100年後に、地球がどうなってしまうかわからないので、わたしは、自分ができる小さな対策から始めていきたいと思いました。そしてみんなでがんばって、地球温暖化を少しでも遅らせたいです。 ・これから学校に緑のカーテンを作って、学校中のみんなに、きれいなあさがおを見てもらったり、ゴーヤを収穫してみんなで料理したりするのが楽しみです。そして、少しでも涼しく感じたり、きれいな空気を吸えたりしたらうれしいです。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球の温暖化について、具体的な資料を通して示してもらったので、子ども達にとってはとてもわかりやすく、また自分の問題としてとらえることができた。 ・地域の方からいただいた珍しい品種のあさがおやゴーヤ、へちまの3種類を植えたが、あさがおは全校の児童・職員にも楽しんでもらえよかった。 ・理科の学習で、へちまを育て観察したが、緑のカーテンを利用して学習することができ、よかった。 ・奥原造園さんが、棚作りを手際よくやってくださり、大変助かった。 ・奥原さんのお話のし方がとてもお上手で、4年生の子どもたちにもわかりやすく、集中してよく聞くことができた。あっという間の充実した1時間だった。 	

授 業 名	端材の工作(木目を生かしたペンダント作り)	
実施学校名	二子小学校	
実施学年、学級 参加人数	特別支援学級 2年生1名 3年生1名 5年生1名 6年生2名	
担当者	吉川みどり 加藤 良知	
実施日(期間)	平成26年10月30日(木)	
講師名	株式会社 住まい工房 WOOD事業部	
実施概要	<p>1 木材にはいろいろな種類があること、木材は、家や家具など、様々な用途で使われていることを学んだ。</p> <p>2 ヒノキの端材を使って、ペンダントを作った。</p>	
実施状況 (授業風景)	 <p>木材についての説明を聞きます。</p>	 <p>まず、粗いやすりで磨きます。</p>
	 <p>目の細かいやすりに変えながら、更に磨きます。 (ここが一番大変でした)</p>	 <p>えごま油をぬり、つやを出します。</p>

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>最後に、革紐を木の穴に通して、完成です。</p> <p>終始和やかな雰囲気で作ることができました。</p>	
<p>授業について</p>	<p>記入者</p>	<p>・加藤 良知</p>
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やすりで削るのが大変だったけれど、うまくできた。 ・上手にペンダントを作ることができた。 ・思ったよりも上手にできて、うれしかった。 ・気に入ったペンダントができて、うれしかった。 ・削るのがむずかしかったけど、うまくできて、うれしい。 ・六年生の良い思い出になった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに分かりやすく、丁寧に教えていただき、とてもありがたかった。 ・特別支援学級の子どもたちにも分かりやすく、且つスムーズに教えてもらい、うれしかった。 ・和やかな雰囲気をつくっていただき、子どもたちが楽しく制作することができた。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間が余ったときのために、端材で作った積み木なども用意していただき、子どもたちが楽しむことができた。 	

授業名	自然観察からはじまる自然保護の実践 【おためしプログラム】
実施学校名	今井小学校
実施学年、学級 参加人数	1、2学年 参加人数51名
担当者	中山 豊 野村 文恵
実施日（期間）	平成26年11月13日（木）
講師名	自然観察の会 ひこばえ
実施概要	<p>校学習公園で、自然観察を行った。</p> <p>①同じもの探し：10種類くらいの自然物を探す。</p> <p>②実を食べる虫：栗やどんぐりを見て、木の実を食べる虫について調べる。</p> <p>③松ぼっくりと種：松ぼっくりを観察し、種とそのつくりについて知る。</p> <p>④学習公園の鳥：鳥の羽を見つけて、学習公園に来そうな鳥について知る。</p> <p>⑤生き物探し：冬を迎える前の虫や生き物の巣を探す。</p> <p>⑥冬芽の観察：冬芽を実際に観察する。</p>
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>早く10種類見つけよう！！</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>何か生き物はいないかな？</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>こんなもの見つけたよ！</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>これは何の鳥の羽かな？</p> </div> </div>

授業について	記 入 者	中山 豊
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥の羽を見つけたよ！これはなんの羽かな？ ・ネズミがくるみを食べた跡とリスが食べた跡では違うんだな。 ・リスが松ぼっくりを食べると、海老フライ見たいになるなんて知らなかった。 ・学習公園には「海老フライ」が落ちてないから、リスはいないみたいで、残念だな。 ・ねずみの巣があるなんて知らなかった。今度来た時にまた見つけてみたいな。 ・学習公園に鳥が来ていて、大きな鳥に食べられていたなんて知らなかった。羽がたくさん落ちていて、かわいそうだった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>学習公園が思ったように活用されていない現状があったので、何か良い活用方法がないか考えていたところ、「ひこばえ」さんの自然体験を紹介していただいた。</p> <p>「わおん♪」さんで行った自然体験より、一歩進んだ自然験となり、段階を踏むような形になって、とてもよかった。リスの食べた松ぼっくりやクルミ、冬芽、鳥の羽など学習公園だけでは見ることのできないものを準備していただき、子どもたちに見せていただいた。子どもたちも真剣に見ていて、自然についての興味関心が更に深まった様子だった。</p> <p>少し時期が遅かったので、風が強いと寒かった。時期を考えながら、来年も実施する方向で考えたい。</p>	

平成26年度

松本市小中学校環境教育支援事業

学習プログラム一覧




平成 26 年度 小中学校環境教育支援事業 学習プログラム一覧

講座 No.	分類	講座名称	講師	直接申込の可否	頁
1	自然体験	1 自然を皆と一緒に考えるプログラム 2 登山やハイキングの引率	NPO 法人信州松本山岳ガイド協会 やまたみ	可能	59
2	自然体験	体感プログラムを中心とした自然体験学習	持続可能な松本平創造カンパニー わおん♪	可能	60
3	自然体験	自然と川を大好きになるプログラム	株式会社アウトドアサポートシステム	可能	61
4	自然体験	体感プログラムを中心とした自然体験学習	トゥモロウ・リーディング倶楽部	不可	62
5	自然体験 環境知識	1 ぬかくご飯炊き体験 2 地域発見ウォーキング	NPO 安曇野ふるさとづくり応援団	不可	63
6	自然体験 環境知識	稲作体験（循環型農業体験）	いきものみつけファーム in 松本 推進協議会	可能	64
7	自然体験 環境知識	ツキノワグマの生態を知ろう	NPO 法人 信州ツキノワグマ研究会	可能	65
8	自然体験 環境知識	水の生物の観察会	川の自然と文化研究所（NPO）	可能	66
9	環境知識	1 やさしい放射線の実験教室 2 水ってなあに？	株式会社 環境技術センター	可能	67
10	環境知識	1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり 2 小水力発電機による自然エネルギー体験	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと）	可能	68
11	環境知識 生活力	マイ箸づくり	<small>かな</small> 寿 鮑 の会	不可	69
12	生活力	裁縫作業指導（マイ箸収納袋制作）	松本市ボランティアセンター 松本市社会福祉協議会	不可	70
13	環境知識 生活力	1 あかりのエコ教室 2 エコと太陽光発電教室	パナソニック株式会社 エコソリューションズ社松本営業所	可能	71
14	環境知識 生活力	生ごみ処理機を使用した堆肥作り	株式会社 キクイチ	不可	72
15	環境知識 生活力	リサイクル・リユースについてのワークショップ	フリマネット信州	可能	73
16	環境知識 生活力	木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	不可	74
17	環境知識 生活力	木材の活用法	松本市林業会	不可	75
18	環境知識 生活力	緑のカーテン設置事業	松本市緑化協会	可能	76
19	環境知識 生活力	1 端材の工作 2 積み木で遊ぼう	榎住まい工房 WOOD 事業部	不可	77
20	自然体験 環境知識	自然観察からはじまる自然保護の実践	自然観察の会 ひこばえ	不可	78
21	環境知識	[もったいない]を考える ～ごみの分別と食べ残し～	松本市環境政策課	可能	79

- 講師の選定、講座内容の作成に際して、一般社団法人長野県環境保全協会中信支部、松本商工会議所及び市民団体等の協力をいただいています。
- また、支援事業のコーディネートについて、中信地区環境教育ネットワークの協力をいただいています。

【分類：自然体験】

No. 1	講座名称	1 自然を皆と一緒に考えるプログラム 2 登山やハイキングなどの引率 (講座 No. 1)
支援事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ こども自然体験教室 ・ 自然観察会（自然全般・植物・野鳥・昆虫など） ・ 野生生物や生物多様性に関する学習 ・ 自然観察会、自然体験の指導 <p>美ヶ原、上高地、乗鞍高原、松本市アルプス公園など中信地区全域。（日程が合えば三城キャンプも対応可）</p> <p>プロジェクト・ワイルドのエデュケーター資格者が、学校の希望テーマに沿ったプログラムを提供します。学校でテーマを決めていない場合は、「温暖化」「鹿の食害」など、現地の実態に即したテーマでプログラムを提供します。</p> <p>雨天の場合は屋内でプログラムを提供します。</p> 
対象学年（年齢）		小学生以上、学年に応じた授業内容を相談しながら内容決定
時間数		1回で2時間程度～1日（宿泊があってもよい）
講師人数		子ども10～15人に対して講師1名
費用		講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎）
必要な準備		申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師連絡先		NPO 法人信州松本山岳ガイド協会 やまたみ TEL 0263 -34-1543 E-mail info@yamatami-com 担当 石塚聡実 http://yamatami_com/
講師について		2005年に設立された、長野県の山岳地帯を主に活動場所とするNPO法人です。登山ガイド・自然ガイドの資格者を軸に構成されています。信州の豊かな自然から人間と自然が共存する機能を理解し、そのあり方を考える事を目的としています。
開催実績		平成24年度 会田中学校 プロジェクト・ワイルド実施 平成25年度 松本盲学校 上高地ハイキングとプロジェクト・ワイルド実施 波田松原分校 美ヶ原ハイキングとプロジェクト・ワイルド実施 会田中学校 ポレポレ講座 室内にてプロジェクト・ワイルド実施
申込み (直接申込可能)		直接講師（上記連絡先）にお申込みください。 ※ 学校教育課指導室への申込書の提出も必要です。 必ず提出してください。
問合せ		上記連絡先にお問合せください。

【分類：自然体験】

No. 2	講座名称	体感プログラムを中心とした自然体験学習 (講座 No. 2)
支援事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の校庭などの身近な自然で、自然と触れ合い完成を育てる活動 ・自然の素材で作る簡単な工作で、道具が使えるようになる活動 ・ネイチャーゲーム、自然に興味を持つきっかけになる。 <p>(野外の活動を希望する場所があれば、そこで実施可能)</p>	
対象学年 (年齢)	3歳～大人まで	
時間数	1～2時間程度 (希望時間に応じたプログラムを実施することもできます)	
講師人数	児童・生徒 20人に対して1人の講師 (安全確保の観点から、講師2名以上による実施を希望します)	
費用	講師謝礼 1人につき5,000円(授業1回分毎) 材料費等は別途(内容により異なります)	
必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談	
講師連絡先	持続可能な松本平創造カンパニーわおん♪ TEL 0263-87-3005 E-mail waon@ac.auone-net.jp 担当 山田直美 http://waon.naganoblog.jp/	
講師について	塩尻市を拠点に、自然体験活動を実施している、設立5年目になる任意団体です。小学生を対象にした年間の自然体験活動や、保育園、児童館などへの出前講座を行っています。	
開催実績	学校の校庭でネイチャーゲームなどの自然体験活動 (会田小、田川小)	
申込み (直接申込可能)	直接講師(上記連絡先)にお申込みください。 ※ 学校教育課指導室への申込書の提出も必要です。 必ず提出してください。	
問合せ	上記連絡先にお問合せください	

【分類：自然体験】



No. 3	講座名称	自然と川を大好きになるプログラム (講座 No. 3)
支援事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・梓川リバートレッキング (川の安全講習会付) ・乗鞍岳 (高原)、上高地ネイチャートレッキング (学校登山もご用命下さい) ・乗鞍高原スノーシュートレッキング、善五郎の滝氷瀑編 	
対象学年 (年齢)	小学校3年生以上	
時間数	2～3時間 (1日の場合は6時間程度)	
講師人数	子ども20人に対して講師2名	
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円 (授業1回分毎) 機材レンタル300～1,000円 保険料31円～300円	
必要な準備	「山編」弁当、水筒、動きやすい服装・靴、帽子など 「川編」水着、弁当、水筒、帽子、水に濡れてもよい靴など	
講師連絡先	(株)アウトドアサポートシステム TEL 0263-93-1243 E-mail mine@odss.co.jp 担当 小峰邦良 http://www.odss-norikura.jp/	
講師について	25年に渡り、岐阜・長野・四国を中心に日本のアウトドアシーンをサポートし続けています。松本支社では乗鞍、上高地の春夏秋冬の魅力を引き出すツアーおよびプログラム作成運営に着手。梓川流域の自然、人、文化を繋ぐことを目標に奮闘中。さまざまなアウトドアツアー・イベントを開催しています。詳しくはHP 閲欄、及び直接ご質問ください。	
開催実績	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県学習旅行誘致推進協議会主催、サマー・スノーキャンプ in 信州 ・日本旅行トムソーヤクラブ主催、乗鞍雪遊学校 ・あずさ・水と暮らしの楽校協議会連携事業、梓川大河一滴プロジェクト 	
申込み (直接申込可能)	直接講師 (上記連絡先) にお申込みください。 ※ 学校教育課指導室への申込書の提出も必要です。 必ず提出してください。	
問合せ	上記連絡先にお問合せください	

【分類：自然体験】

No. 4	講座名称	体感プログラムを中心とした自然体験学習 (講座 No. 4)
支援事業内容	<p>専門知識を有する指導者（CONE リーダー、文部科学省認定自然体験活動全体指導者）がさまざまな自然体験学習を提供します。</p> <p>「火起こし教室～ハリギリ式、新聞を使わない方法、火の育て方等」「燻製教室、保存食の知恵（校内可）」「野生生物について学ぶ～プロジェクトワイルド（体験型授業）」「地域防災・ロープワーク（現職の消防士さんのワークショップ）」「木の実・木の葉当てクイズ（校内）」「限界集落を訪ねる～地域の課題を考えよう（移動あり）」「梓川クリーンナップラフティング（別料金）」</p> <p>多様なメニュー、人材がいます。まずはご相談ください。</p>	
対象学年（年齢）	1～2年生：燻製教室、プロジェクトワイルド、ネイチャーゲーム 3年生以上：上記含む提示したすべてのプログラム	
時間数	基本的に2時間分程度（80～90分）必要 ※移動時間含まず 内容により、半日程度	
講師人数	児童・生徒30人に対して2～4人の講師	
費用	講師謝礼 1人につき5,000円 材料費等は別途（内容により異なります）	
必要な準備	プログラムの用具は一部準備しますが、まずは相談させてください。材料（消耗品）は学校（または児童・生徒）で用意していただくこともあります。安全のため児童・生徒に事前に持ち物・服装を案内します（雨具・軍手など）	
講師からの持込資材等	火起こし用具のセット、燻製用具のセット、教本・教材、等。	
講師連絡先	トウモロウ・リーディング倶楽部（TLC） 〒390-1295 松本市新村 2095-1 松本大学中澤研究室 TEL 0263-48-7233 E-mail tomoyo.nakazawa@matsu.ac.jp 担当 中澤朋代	
講師について	自然体験活動の指導者として23時間程度にわたる指導者養成講習会を終えたメンバー（受講生、事務局、講師）のネットワークで、2010年4月より毎月集まり、地域情報を交換し、実際の活動に繋がっています。（この講習は学校支援のテーマで文部科学省から自然体験活動推進協議会が受託、松本大学で実施されました）	
開催実績	体験アクティビティ、自然観察学習、火おこし体験（会田中）	
申込み（直接申込不可）	申込書を学校教育課指導室に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 （実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）	
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ecoconet@gominetnagano.jp）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 （夕方5時以降）	



【分類：自然体験、環境知識】

No. 5	講座名称	1 むかくどご飯炊き体験 2 地域発見ウォーキング (講座 No. 5)
支援事業内容	1 むかくどご飯の炊き出し・試食 昔ながらの「むかくど釜」でご飯を炊き、美味しいお米を味わってもらいます。「むかくど釜」は、昭和初期に農家で使用されていた「ぬか」＝「もみ殻」を使った釜で、紙芝居にて概要を説明します。 ※3 釜持参可能（おにぎり約 70 個/釜） 2 地域発見ウォーキング 安曇野市内の屋敷林、拾ヶ堰、道祖神等の原風景が残る地域を、クイズ等を楽しみながら案内します。	 
対象学年（年齢）	小学校 3 年生以上	
時間数	2 時間分程度必要	
講師人数	子ども 30 人に対し 2 人の講師	
費用	講師謝礼 講師 1 名に 5,000 円（授業 1 回分） その他 お米代、資料代等 必要	
必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談	
講師連絡先	NPO 安曇野ふるさとづくり応援団 TEL 0263 -81-1325 E-mail lifeport@nifty.com 担当 宮崎崇徳 http://npo-furusato.way-nifty.com/azumino/	
講師について	平成 18 年に設立した NPO 法人信州ふるさとづくり応援団安曇野支部を母体とし、平成 25 年 3 月の組織分割により現団体名となりました。地域の自然、歴史、文化を学びながら歩く「ふるさとウォッチング」を安曇野市内で開催し、平成 25 年度からはリメイク版「ふるさとさんぽ」もスタートしました。	
開催実績	・むかくどご飯炊き体験（菅野小、会田中） ・地域発見ウォーキング（穂高北小）	
申込み（直接申込不可）	申込書を学校教育課指導室に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 （実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）	
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ ecoconet@gominetnagano.jp ）でお問い合わせください。2～3 日中に電話またはメールでご連絡します。 （夕方 5 時以降）	

【分類：自然体験、環境知識】

No. 6	講座名称	稲作体験（循環型農業体験） いきものみっけファーム (講座 No. 6)
支援事業内容	年間を通じてお米の肌ヌカ（米の精）を使用した農法の実演と体験により、土壌を豊かにする健康な作物づくりと生きものあふれる農地づくりを行い、その場所を環境学習に使用します。 学校の田んぼ、畑で実施します。	
対象学年（年齢）	小学校3年生以上	
時間数	1回の授業に90分程度必要	
講師人数	児童・生徒30人に対して2人の講師	
費用	講師謝礼 無料	
必要な準備	畑・田んぼ等のフィールド 苗・種、農業用道具、パソコン（事前の打合せを通じて別途相談）	
講師からの持込資材等	米の精（肥料） 簡単な循環型農業に関する資料	
講師連絡先	いきものみっけファーム in 松本推進協議会 事務局 住所 〒399-0011 松本市寿北 9-7-7 株式会社 中島屋降旗米穀 TEL 0263-50-5822 E-mail sakamaki@nakajimaya.co.jp 担当 坂楨	
講師について	有機循環型農業を地域で実現するために発足した、産・官・学・民協働の協議会です。 （構成団体：公益財団法人日本環境協会、松本大学、農業法人鉢伏ファーム、東洋ライス(株)、(株)サンワイズ、(株)中島屋降旗米穀、(株)環境アセスメント、NPO 法人えんどっこ、松本市）	
開催実績	いきものみっけファーム in 松本 （寿地区の田んぼで通年開催、市内全域から参加あり）	
申込み（直接申込可能）	直接講師（上記連絡先）にお申込みください。 ※ 学校教育課指導室への申込書の提出も必要です。 必ず提出してください。	
問合せ	上記連絡先にお問合せください	

【分類：自然体験、環境知識】

No. 7	講座名称	ツキノワグマの生態を知ろう (講座 No. 7)
	支援事業内容	講師を派遣し学校近隣（校内を含む）で行う学習支援 パワーポイントを用いた講義（クマの生態、出会った時の対処法等）
	対象学年（年齢）	全学年可
	時間数	1 コマ（45分～90分）
	講師人数	子ども 100人に対して2人の講師
	費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎）
	必要な準備	・スクリーン ・プロジェクター（できれば）
	講師からのからの 持込資材等	・パソコン ・トランクキット（クマの毛皮、頭骨等）、クマの着ぐるみ
	講師 連絡先	NPO 法人 信州ツキノワグマ研究会 〒 390-0876 松本市開智2-9-8 TEL 0263-36-1884 E-mail:kumaken.shinshu@yahoo.co.jp 担当 浜口あかり http://www.geocities.jp/shinshukumaken/
	講師について	ツキノワグマの生態研究および保護管理の活動を通し、“ツキノワグマ”とその生息環境の保護保全を図り、野生動物と人間の共存を実現する。
	開催実績	長野市の小中学校でのキャンプ事前授業の実施 ぼくらの学校での講義実施
	申込み (直接申込可能)	直接講師（上記連絡先）にお申込みください。 ※ 学校教育課指導室への申込書の提出も必要です。 必ず提出してください。
	問合せ	上記連絡先にお問合せください

【分類：自然体験、環境知識】

No. 8	講座名称	水辺の生物の観察会 (講座 No. 8)
支援事業内容	<p>水辺の生物の観察会 水路・ビオトープ・学校プールなどにおける水生生物や植物の観察会を行います。</p> <p>【これまでに実施した学習会のテーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人の川と水への意識 ・アルプスの水がもたらす恵みと課題 ・里地・里山の森と暮らしと水 ・千曲川水系における水生昆虫類の個体群構造と遺伝的構造 ・松本、伊那盆地におけるトノサマガエル・ダルマガエルの分布と交雑について ・河川繁殖する鳥類への増水の影響と役割 ・トンボ類からみた日本と台湾の繋がり ・父親が子育てをするコオイムシ科昆虫の繁殖生態と系統進化・種分化について ・安曇野の魚と人とのかかわり 	
対象学年（年齢）	小学校3年生以上（学年に合わせた授業を行います）	
講師人数	子ども30人に講師1～2名	
費用	<p>講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎）</p> <p>材料費 開催内容による（事前の相談で決定）</p>	
必要な準備 学校で準備するもの	網、内面が白色のプラスチック皿、ピンセット 虫めがね（10～20倍）、バケツ、ノート（スケッチ用紙）	
講師 連絡先	<p>川の自然と文化研究所（NPO）</p> <p>TEL 0263-72-3768</p> <p>E-mail tyoshid2002@yahoo.co.jp 担当 吉田利男</p>	
講師について	身近な川を調べ、地域文化との関係や生物のすみかとしての環境を考え、今後の川の姿に関して情報発信するNPO法人です。	
開催実績	校内の川や池に住む生物を観察しよう（平成24年度 島内小）	
申込み （直接申込不可）	<p>直接講師（上記連絡先）にお申込みください。</p> <p>※ 学校教育課指導室への申込書の提出も必要です。 必ず提出してください。</p>	
問合せ	上記連絡先にお問合せください	



【分類：環境知識】

No. 9	講座名称	1 やさしい放射線の実験教室 2 水ってなあに？ (講座 No. 9)
支援事業内容	<p>事業内容</p> <p>1 やさしい放射線の実験教室 放射線は自然に存在し、正しい管理のもとで利用されることで人の役に立つこと、また、原子力発電所事故を受けて、これからのエネルギーについて考えるきっかけになればと思います。普段目に見えない放射線の飛んだ軌跡を簡単に観察でき、簡単な測定器を使って外の放射線量やその場の放射線量を測定します。(児童・生徒 40 人に対して 2 人の講師)</p> <p>2 水ってなあに？(水の性質と循環を学ぼう) 水が固体、液体、気体に変わること、海や川の水が蒸発して雲になり、雨となって地上に落ちてきてまた海に流れるという循環が、地球が誕生して何億年も前から繰り返され、これからも続いていくはず。だから、未来の人たちのためにも大切に、汚さないように使わなければならないことを実感できたらと思います。 また、4 種類の水を用意して、きき水を体験してもらいます。日本の水とヨーロッパの水の味の違いを体験して、どうしてこの味の違いが出るのかを試験します。</p>	
対象学年(年齢)	小学校 1 年生～中学 3 年生まで学年に合わせて	
時間数	2 時間(ご相談ください)	
講師人数	子ども 40 人に対し、2 人の講師	
費用	講師謝礼 1 人につき 5,000 円(授業 1 回分毎)	
必要な準備	2 500ml のペットボトルを一人 1 本用意	
講師からの持込資材等	1 やさしい放射線実験教室 放射線の軌跡観察の機材(タッパー、ランタンマンテル、エチルアルコール等)、放射線量測定器 2 水ってなあに？ 水の循環模型、ドライアイス、硬度試験キッド、水の汚れ試験キッド	
講師連絡先	株式会社 環境技術センター TEL 0263-27-1606 E-mail miyazawa.m@kgcenter.co.jp 担当 宮澤恵美 http://www.kgc-minnanolab.com/	
講師について	松本市内で 40 年間、環境分析を行ってきている会社です。環境問題がクローズアップされる昨今、理科実験と環境問題を組み合わせ、難しくとらえられがちな化学物質などを、わかりやすく解説したいと考えています。	
開催実績	やさしい放射線実験教室 (会田中、菅野小) 水の性質と循環を学ぼう (今井小)	
申込み(直接申込可能)	直接講師(上記連絡先)にお申込みください。 ※ 学校教育課指導室への申込書の提出も必要です。 必ず提出してください。	
問合せ	上記連絡先にお問合せください	



【分類：環境知識】

No. 10	講座名称	1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり 2 小水力発電機による自然エネルギー体験学習 (講座 No. 10)
支援事業内容	1 竹筒を自分たちで加工（切る穴あけ）して、ガラス玉などで装飾し、蜜蝋を使ったキャンドル（大きさ50cm程度）を作ります。作ったキャンドルはキャンドルナイトイベント（6月：松本市美術館、12月：松本駅前）で大々的に飾り、イベントに華を添えていただきます。 2 可搬式の小水力発電機を使って、実際の水力発電の仕組みを体験して学びます。	 
対象学年（年齢）	小学校高学年～中学生	
時間数	1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり 2～3時間程度 2 小水力発電機による自然エネルギー体験学習 1時間程度	
講師人数	子ども10人に講師1～2名	
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） その他材料等については別途相談	
必要な準備	1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり ・実施場所として工作室 2 小水力発電機による自然エネルギー体験学習 ・校内の流水（落差）がある箇所	
講師からの持込資材等	1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり ・電動ドリル、鋸、ホットボンド等の工具類 ・ガラス玉、ビー玉等の装飾物 2 小水力発電機による自然エネルギー体験学習 ・可搬式小水力発電機	
講師連絡先	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと） TEL・FAX 0263-57-5460 E-mail kichan007@nifty.com 担当 鈴木喜一郎	
講師について	市内10団体で構成するネットワークです。それぞれの環境保全活動の持ち味を活かし、「キャンドルナイトまつもと（6月、12月）」「打ち水大作戦（8月）」等の活動を行っています。	
開催実績	1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり （松本市美術館ワークショップ、信大付属中、島立小、菅野小、高綱中） 2 小水力発電機による自然エネルギー体験学習（会田中）	
申込み（直接申込可能）	直接講師（上記連絡先）にお申込みください。 ※ 学校教育課指導室への申込書の提出も必要です。 必ず提出してください。	
問合せ	上記連絡先にお問合せください	


【分類：環境知識、生活力】

No. 1 1	講座名称	マイ箸づくり (講座 No. 1 1)
支援事業内容	<p>自分で鉋、鋸<small>かんなのこぎり</small>を使ってヒノキの端材から自分だけの箸を作ります。</p> <p>材木に関する基本的な知識についても学習し、モノを大切にする気持ちも養います。</p>	
対象学年（年齢）	小学生以上、学年に応じた授業内容を相談しながら内容決定	
時間数	2時間～3時間必要	
講師人数	子ども10人に対して講師1名	
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） 材料代 1人300円	
必要な準備	鉋、鋸 その他、申込時・事前の打合せを通じて別途相談作業に適した会場（工作室等）	
講師からの持込資材等	工作台（机上に設置）、肥後ナイフ、鉋	
講師連絡先	寿鉋の会 TEL 090-1828-5282 鬼頭朝雄	
講師について	毎週金曜日に寿福祉ひろばで刃物のとぎ方や日曜大工などを行っています。長年に渡り家具作り等に携わっていた職人たちが講師を務めています。	
開催実績	マイ箸づくり教室（会田小、菅野小、二子小、高綱中）	
申込み（直接申込不可）	申込書を学校教育課指導室に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 （実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）	
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ecoconet@gominetnagano.jp）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 （夕方5時以降）	


【分類：生活力】

No. 1 2	講座名称	裁縫作業指導（マイ箸収納用袋の制作指導） (講座 No. 1 2)
支援事業内容	<p>マイ箸収納用袋の制作指導 マイ箸づくりで作った箸を収納するための袋を自作する際の指導講習を行います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
	対象学年（年齢）	小学校以上
時間数	2 時間程度必要	
講師人数	子ども 10 人に講師 1 名	
費用	講師謝礼 講師 1 名に 5,000 円（授業 1 回分毎） 材料費 制作内容によるため別途相談	
必要な準備	裁縫セット、布等の材料	
講師からの持込資材等	布等の材料	
講師連絡先	松本市ボランティアセンター（松本市社会福祉協議会内） TEL 0263-25-7311 FAX 0263-27-2239 E-mail vol@syakyo.matsumoto.or.jp 担当 中村ひとみ	
講師について	市内の地域ボランティア部会メンバーが、箸袋を自作する際の指導を行います。	
開催実績	マイ箸・箸入れづくり（二子小、高綱中、島立小）	
申込み（直接申込不可）	申込書を学校教育課指導室に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 （実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）	
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ecoconet@gominetnagano.jp）でお問い合わせください。2～3 日中に電話またはメールでご連絡します。 （夕方 5 時以降）	

【分類：環境知識、生活力】

No. 13	講座名称	1 あかりのエコ教室 2 エコと太陽光発電教室 (講座 No. 13)
支援事業内容	<p>地球温暖化による環境変化、地球温暖化防止に効果のある家電製品の省エネルギー化等について学習します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LEDを使った最近の照明器具が、熱を発生させずに効率のいいものなのか、照明器具を実際に触って比較する学習等を行います。 ・地球に優しい太陽光発電の仕組みを学ぶ。実験を通じ、太陽光発電の特徴（長所、短所）に気づき、考え、発表します。 	
対象学年（年齢）	1 あかりのエコ教室 小学校4～6年生 2 エコと太陽光発電教室 小学校5～6年生	
時間数	90分（2時限）	
講師人数	子ども25～30人に講師1名（補助2名）	
費用	無料	
必要な準備	<ul style="list-style-type: none"> ・実施場所として理科教室 ・スクリーンまたは大型テレビ ・黒板またはホワイトボード 	
講師からの持込資材等	<ul style="list-style-type: none"> ・実験道具（4～5人で1台） ※あかりのエコ教室では測定機器、手回し発電機	
講師連絡先	パナソニック(株)エコソリューションズ社 松本営業所 TEL 0263-27-4501 E-mail kasahara.m@jp.panasonic.com 担当 笠原正晴 http://panasonic.co.jp/es/	
開催実績	家電製品の省エネ学習（清水小、会田中）	
申込み（直接申込可能）	直接講師（上記連絡先）にお申込みください。 ※ 学校教育課指導室への申込書の提出も必要です。 必ず提出してください。	
問合せ	上記連絡先にお問合せください	

【分類：環境知識、生活力】

No. 1 4	講座名称	生ごみ処理機を使用した堆肥作り (講座 No. 1 4)
支援事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機を使用した堆肥作りの講師を派遣し、指導等を行い、資源循環やバイオ（微生物の働き）について学んでいただきます。小型の生ごみ処理機をクラス単位・学年単位で貸し出すことが可能です。 ・処理機の使用方法や堆肥ができるまでの指導支援を行います。 ・完成した堆肥の使い方も指導します。（1サイクル概ね3カ月で、できた1次堆肥を回収し、当社で2次堆肥に発酵させるため、臭いはあまり発生しません。県内の学校、保育園でも使用されています。） 	
対象学年（年齢）	小学校高学年以上	
時間数	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみを投入する回の授業として、60～90分程度 ・その後、機械で堆肥にする期間＝約3ヶ月、クイイチで熟成堆肥にする期間＝約1ヶ月の合計4ヶ月で1サイクル 	
講師人数	機械1台あたり児童約40人（講師1名）	
必要な費用	講師料は無料 材料費（機器管理等を含む）が15,000円	
必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談 実施時には生ごみ（野菜くず等）が必要	
講師からの持込資材等	事前に生ごみ処理機を設置します （幅150cm×高120cm 要AC100V電源）	
講師連絡先	株式会社クイイチ TEL 0263-92-5141 E-Mail kikuichi@go.tvm.ne.jp 担当 百瀬潔	
開催実績	・生ごみ処理機を使用した堆肥作り（鎌田小、中山小）	
申込み（直接申込不可）	申込書を学校教育課指導室に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 （実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）	
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ecoconet@gominetnagano.jp）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 （夕方5時以降）	

【分類：環境知識、生活力】

No. 15	講座名称	リサイクル・リユースについてのワークショップ（講座 No. 15）
	支援事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童や家族が使わなくなったり、着られなくなったものをリメイクしたり再利用したりするワークショップ ・環境の3Rについて小学生から中学生まで、学んでもらい、児童向けの市環境書籍紹介なども交えて、リサイクルやリユースの実情について学ぶ。 ・団体で支援しているアジアのカンボジアやフィリピンの小学生や児童の様子について映像などで学び、自らの生活の中で「不要になったもの」を廃棄物でなく「資源」としてとらえることで、先進国の子供として、未来の環境負荷を軽減することの大切さについて気付いてもらう。不要になった文房具などを家庭や友人などに呼び掛けて、集め、実際に梱包して発送するまでを体験する。
	対象学年（年齢）	小学校高学年～中学生
	時間数	座学に1時間、制作などの作業に1時間の計2時間（連続可）
	講師人数	子ども30人に講師1～3名
	費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） その他経費（材料費等、必要物品） <ul style="list-style-type: none"> ・資料作成の印刷代、講師の交通費実費など ・平面コラージュなどを行う場合には画用紙など。 ・グループワーク用には模造紙と付箋など
	必要な準備	DVD視聴用の視聴覚設備、裁縫道具、鋏、糊など
	講師からの持込資材等	視聴用映像ソフト、参考図書、写真、材料など
	講師連絡先	フリマネット信州 TEL 090-9664-5510 FAX 0263-88-5012 E-mail firmanet@yahoo.co.jp http://furimanet.com/ 担当 立石恵子
	講師について	平成14年発足。生活者自身がリユース、市民交流、福祉支援、まちの賑わいづくりを4つの趣意として、消費者のリユースフリーマーケット活動、リユースで回収した物品で海外の児童教育支援をする活動、福祉活動やボランティア活動、市民活動などの企画や工法の支援も行っています。
	開催実績	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに保護者と小学生が、リユースを体験するリサイクルフリーマーケット参加、日常生活で二酸化炭素を減らすやり方について学んだ。 ・市内の児童館を運営するNPO法人と協働で、各児童館の児童が、ペットボトルなどをリメイクして作った作品を持ち寄り、先生たちと「リユースバザー」を行って震災で被災した門脇小学校の支援イベントを寿台児童館にて実施した。
	申込み（直接申込可能）	直接講師（上記連絡先）にお申込みください。 ※ 学校教育課指導室への申込書の提出も必要です。 必ず提出してください。
	問合せ	上記連絡先にお問合せください

【分類：環境知識、生活力】

No. 16	講座名称	木の授業とバウムクーヘン作り (講座 No. 16)
支援事業内容	<p>竹や廃材などを活用して行う野外活動です。 木の年輪などの話をしてから、炭火を使って材料からバウムクーヘンを作ります。</p> 	
対象学年（年齢）	小学校4年生以上	
時間数	2時間程度	
講師人数	子ども10人に講師1名	
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） 材料費 4,000円/約10人分	
必要な準備	長机数台	
講師からの持込資材等	レシピ等の資料、竹の棒などの資材、材料一式	
講師連絡先	<p>寿さと山くらぶ TEL・FAX 0263-57-5460 E-mail kichan007@nifty.com 担当 鈴木喜一郎</p>	
講師について	平成13年に設立し、寿地区の財産区有林の整備作業と地域の学校での環境教育などを実施しています。昨年度の会員数65名。	
開催実績	木の授業とバウムクーヘン作り（鎌田小、二子小、会田中、中山小）	
申込み (直接申込不可)	<p>申込書を学校教育課指導室に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートをやっている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 (実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います)</p>	
問合せ	<p>学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール (ecoconet@gominetnagano.jp) でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 (夕方5時以降)</p>	

【分類：環境知識、生活力】

No. 17	講座名称	木材の活用法 (講座 No. 17)
支援事業内容	<p>間伐による里山の保全、間伐材の活用について学習しながら、木工工作を行います。木の持つ魅力や種類の違いなどを五感で感じて、自ら創造する活動です。 また、山林での森林整備体験なども行います（応相談）</p> 	
対象学年（年齢）	小学校4年生以上	
時間数	2時間程度	
講師人数	子ども6～8人に講師1名	
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） 材料費 開催内容による（事前の相談で決定）	
必要な準備	木工教室の場合、木工室等の会場	
講師からの持込資材等	木工に必要な木材と機材一式	
講師連絡先	松本市林業士会 TEL・FAX 0263-57-5460 E-mail kichan007@nifty.com 担当 鈴木喜一郎	
講師について	松本市内の現役林業士約20名で組織しています。それぞれが木と森のスペシャリストとして、市内各行事、地域イベント等にも参加しています。	
開催実績	木材の活用法（田川小、鎌田小）	
申込み （直接申込不可）	申込書を学校教育課指導室に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 （実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）	
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ecoconet@gominetnagano.jp）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 （夕方5時以降）	

【分類：自然体験、環境知識】

No. 18	講座名称	緑のカーテン設置指導 (講座 No. 18)
支援事業内容	<p>緑のカーテン設置補助</p> <p>低学年、紙芝居又はパワーポイントでカーテン設置の意味や効果、種の植え方後の管理方法を解説します。(1時限)</p> <p>高学年、中学生、希望によりますが、パワーポイントで地球温暖化の現状や将来を解説し、問題の意識付けをします。そのうえで、緑のカーテンの効用や維持管理の方法を解説します。</p>	
		
対象学年(年齢)	小学校以上(学年に合わせた授業を行います)	
時間数	小学校低学年=1時限、小学校高学年以上=2時限(応相談)	
講師人数	子ども120人に講師1名	
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円(授業1回分毎) 材料費 開催内容による(事前の相談で決定)	
必要な準備	<p>設置場所の確保</p> <p>〃 の耕し、施肥</p> <p>※ 可能な限り地植えを推奨します。 プランターでは生育不足となり、期待する効果が得られません。</p> <p>※ 夏休み前までの生育を促すために、5月中の実施を推奨します。</p>	
講師からの持込資材等	<ul style="list-style-type: none"> ・種子、苗 ・紙芝居、パワーポイントによる温暖化防止学習資料 ・ネット、竹枠 <p>※ ネット張り作業は事前に行います(別日程で行います)</p>	
講師連絡先	<p>松本市緑化協会</p> <p>TEL 0263-48-3100</p> <p>E-mail oku-zou@avis.ne.jp (株)奥原造園 奥原正司</p>	
講師について	松本市内で造園業を営む17業者の集まりです。緑化工事・維持管理を中心に、地域の環境保全を目指しています	
開催実績	緑のカーテン設置補助 24年度=15校、25年度=14校	
申込み(直接申込可能)	<p>直接講師(上記連絡先)にお申込みください。</p> <p>※ 学校教育課指導室への申込書の提出も必要です。 必ず提出してください。</p>	
問合せ	上記連絡先にお問合せください	

【分類：環境知識、生活力】

No. 19	講座名称	1 端材の工作（木目を生かしたペンダント作り） 2 積み木で遊ぼう (講座 No. 19)
	支援事業内容	1 端材の工作 輪切りの木材を叩き割ると、木目に沿って独特の形をした破片ができます。その木のかげらを磨いて、自分だけのペンダントヘッドを作ります。木によって割れ方も色も年輪も硬さも重さも異なるため、作業の過程で木の性質を学び、親しむことができ、また、磨いてワックスを塗ることで、捨てられてしまうはずの端材が、芸術的な作品に変化する面白さを楽しめます。 授業のはじめに、木と森と間伐の話をしします。 2 積み木で遊ぼう 10センチ×5センチ×2センチ程度の軽い材質の端材で作ったやすりをかける前の積み木をたくさん持ち込みます。自分達で紙やすりをかけた後、高さ大会や積み木で絵を描いた入り、自由に遊びます。
	対象学年（年齢）	1 小学1年～6年生 2 低学年
	時間数	90分
	講師数	子ども 30人に対して2人の講師
	費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） 材料費 1 端材の工作 1人 500円 2 積み木で遊ぼう 1人 500円（紙やすりと積み木代） ※ 紙やすりをかける積み木をいくつかお渡しします。遊ぶ際に使うたくさんの積み木をご購入いただく場合は別途積み木代をいただきます（要相談）
	講師からの持込資材等	1 端材の工作 …端材、紐（ペンダント用）、ビーズ、ワックス(天然素材)、紙やすり 2 積み木で遊ぼう…積み木（人数に応じて）、紙やすり
	講師連絡先	(株)住まい工房 WOOD 事業部 住所 〒399-0831 松本市井川城 3-7-27 TEL 0263 -28-6351 E-mail p19ayuko@gmail.com 担当 坂本あゆこ 090-4161-8514 http://www.sumaikobo.com/
	講師について	安全で良質な長野県産材を積極的に家づくりに活用し、「木を切って、使って、また植えて森を守る」活動に取り組んでいます。NPO法人「地球の緑と子供たちの未来を守る会」の代表も務め、未来ある子供たちに、木に触れて豊かな感性を養い、木を守る・山を守ることの大切さを伐採体験などを通して伝えています。
	申込み（直接申込不可）	申込書を学校教育課指導室に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 （実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）
	問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ecoconet@gominetnagano.jp）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 （夕方5時以降）

【分類：自然体験、環境知識】

No. 20	講座名称	自然観察からはじまる自然保護の実践 (講座 No. 20)
支援事業内容	<p>身近な自然観察（季節を楽しみながら）を指導します。</p> <p>「校庭で自然観察会（五感で感じる、自然と人や、動物と植物のつながりなどを学ぶ）」「教室で自然を学ぶ（フィールドの落とし物、紙芝居、本（絵本）などで学ぶ）」「水辺（小川）の自然観察」「まちなかの自然観察」</p> 	
対象学年（年齢）	小学生以上、学年に応じた授業内容を相談しながら内容決定	
時間数	1回で2時間程度必要	
講師人数	子ども15人に対して講師1名（先生と協力して1クラス程度まで）	
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎）	
必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談	
講師連絡先	<p>自然観察の会 ひこばえ</p> <p>TEL・FAX 0263-26-1573 担当 村上さよ子</p>	
講師について	<p>1996年、自然大好きな仲間と会をつくる。「自然観察から始まる自然保護」の実践を目ざして、自然観察会やフィールドでのボランティア活動などを行う。</p>	
開催実績	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭の自然観察一波田小学校3年4組 ・保育園、中学校の遠足や修学旅行のガイドウォーク 	
申込み（直接申込不可）	<p>申込書を学校教育課指導室に提出してください。</p> <p>申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。</p> <p>（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）</p>	
問合せ	<p>学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ecoeconet@gominetnagano.jp）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。</p> <p>（夕方5時以降）</p>	

【分類：環境知識】

No. 21	講座名称	「もったいない」を考える ～ごみの分別と食べ残し～ (講座 No. 21)
支援事業内容		<p>我が国で食べられるのに捨てられている、いわゆる「食品ロス」は、年間500～800万トンと試算され、日本で一年間に生産されるお米の量に匹敵すると言われています。</p> <p>そして、その内半分は各家庭から排出されていると試算され、一人一人が食べ物に対する感謝を持つことが大切です。</p> <p>また、家庭から捨てられているごみの中には、分ければ資源になる「紙」や「容器包装プラスチック」が沢山入っており、子供の頃から「もったいない」の心で物を大切にするとといった意識を持ち、自ら行動することが必要です。</p> <p>そこで、ごみの分別と食べ残しをテーマに、食品ロス等のごみの現状を伝えるとともに自分達に何ができるのか、パワーポイントを用いた映像とクイズで、楽しみながら勉強します。</p> <div data-bbox="550 750 1157 1019" style="text-align: center;">  <p>食べものに、 もったいないを、 もういちど。</p> <p>NO-FOODLOSS PROJECT</p> <p>食品ロス削減国民運動キャラクター「ろすのん」</p> </div>
対象学年（年齢）		小学校（学年に合わせた授業を行います）
時間数		1 時限
講師人数		講師 1 名
費用		無料
必要な準備		電源の確保
講師からの持込資材等		プロジェクター、スクリーン
講師連絡先		松本市環境政策課 TEL 0263-34-3268 E-mail s-kankyo@city.matsumoto.nagano.jp
講師について		松本市環境政策課職員が伺います。
開催実績		新規事業（園児向けの環境教育は平成 24 年度から実施）
申込み (直接申込可能)		直接講師（上記連絡先）にお申込みください。 ※ 学校教育課指導室への申込書の提出も必要です。 必ず提出してください。
問合せ		上記連絡先にお問合せください

【附録】松本市環境政策課からのお知らせ



1 全国ネットワーク「こどもエコクラブ」への参加協力について

○こどもエコクラブとは？

環境省事業として平成7年度に発足した「こどもエコクラブ」は、年会費・登録料無料の全国ネットワークです。幼児（3歳）から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。

○こどもエコクラブって何をするの？

子どもたちの興味や関心に基づいて、自然観察・調査やリサイクル活動、地球温暖化を防ぐ活動など、家庭・学校・地域の中で身近にできる「地球にやさしい活動」に自由に取組みます。

○こどもエコクラブのかたち

こどもエコクラブは、仲間が集まれば、どんな形態でも、こどもエコクラブとして活動をはじめることができます。登録は1名から、クラブ・学級単位での参加も可能です。

○登録すると・・・

【活動に役立つツールがもらえます】

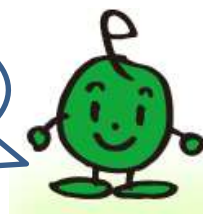
活動に役立つ「メンバー手帳」が届きます。また、わかりやすい環境情報や取り組みやすい環境活動・学習プログラム、他のクラブの活動の様子などを掲載したメールマガジンが無料で提供されるなどの特典があります。



さらに**2015年度**は！

★子どもエコクラブ設立20周年★

20周年限定メンバーズバッジとメンバー手帳がもらえます!!



【活動をサポート】

* 専門家からコメントが届きます。

ウェブサイトから活動報告をすると、専門家から、これからの活動に役立つコメントが届きます。

* 活動報告をするとアーススタンプがもらえます。

5つ以上アーススタンプを集めると「アースレンジャー認定証」が、もらえます。

○活動をはじめするには・・・

こどもエコクラブウェブサイトから直接登録ができます。または環境政策課担当までご連絡ください。

※ はじめようこどもエコクラブ

<http://www.j-ecoclub.jp/guide/index.html>

※ 平成 26 年 12 月末現在 登録クラブ数 2,146、メンバー数 100,909 人

※ 現在は公益財団法人日本環境協会が事業を引き継ぎ、実施しています。

2 食品ロス削減国民運動「NO-FOODLOSS プロジェクト」 ロゴマーク「ろすのん」について



「ろすのん」ってなに？

- ・真ん中の●は、お皿をイメージ（食品ロス問題を訴える）
- ・下の二本線「＝」は、お箸をイメージ
- ・右目の涙は「もったいない」感情を表現

わが国では、本来食べられるのに廃棄されている「食品ロス」が年間500～800万トン発生しています。「もったいない」という言葉の発祥地である国として、官民が連携して食品ロス削減国民運動「NO-FOODLOSS プロジェクト」を展開しています。

松本市も、このプロジェクトに協力し、食品ロスの削減を推進しています。

食品ロスの約半分は家庭から発生しています。

ぜひ、食品ロスの問題に関心を持ち、その削減にご協力ください。

※平成 26 年度から、「ごみの分別と食べ残し」についてのプログラムを作成しました。「No. 21（無料）」ぜひ、お申込みください。

平成26年度
松本市小中学校
環境教育支援事業
報告書

発行 松本市
〒390-8620
松本市丸の内3番7号
電話 0263-34-3000 内線 1444
E-mail s-kankyo@city.matsumoto.nagano.jp

編集 松本市 市民環境部 環境政策課
松本市教育委員会 学校教育課 指導室
協力 中信地区環境教育ネットワーク

印刷 庁内印刷

